



豊橋市 予算の 見どころ

令和5年度

未来へ投資!!

『**みんな**で創るまち』予算

豊橋市

目次

▶ 令和5年度 豊橋市予算の紹介	03
▶ 一般会計の財政状況	05
▶ 重点的に推進する取組み	
・ 人づくりNo.1をめざすまちプロジェクト／食と農のまち推進プロジェクト／北部地域活性化プロジェクト／ナショナルサイクルルートをいかした体験型観光推進プロジェクト	12
・ 笑顔あふれる『子育て・教育環境づくり』の取組み	16
・ 活力みなぎる『しごとづくり』の取組み	22
・ 選ばれ集う『ひとの流れづくり』の取組み	25
・ 持続可能で暮らしやすい『都市空間づくり』の取組み	26
・ 物価高騰対策・新型コロナウイルス感染症対策	28
▶ 分野別計画に基づく主な取組み	
・ 豊かな人間性を備え、未来を創る人が育つまち	30
・ 活力みなぎり、はつらつと働けるまち	35
・ 命の安全、心の安心が確保されたまち	38
・ みんなで支え合い、笑顔で健やかに暮らせるまち	42
・ 互いを尊重し合い、心豊かに暮らせるまち	47
・ 魅力にあふれ、いきいきとにぎわいあるまち	49
・ 自然と共生し、地球環境を大切にするまち	53
・ 暮らしの基盤が整った、便利で快適なまち	56
・ その他	60

※ 各項目の数値は表示単位未満を四捨五入で処理しているため、合計と内訳の数値が一致しない場合があります。

令和5年度 豊橋市予算の紹介

未来へ投資!!『みんなで創るまち』予算

予算の特徴

新年度は、まちづくり戦略の推進を重点化事項と定め、4つの部局横断プロジェクトを効果的に活用し、目指すまちの姿の実現に向けた取組みを着実に推進します。また、物価高騰対策や新型コロナウイルス感染症対策を行うとともに、社会経済活動の活性化にも積極的に取り組みます。

重点的に推進する取組み

まちづくり 戦略

活力みなぎる『しごとづくり』

地域産業における新技術や新事業の創出等を図るための助成を行うほか、産業人材を育成するため、産学官のプラットフォームの形成を進め、リスクリングを中心とした学び直しの環境をつくります。

選ばれ集う『ひとの流れづくり』

「定住」「移住」を促しひとの流れづくりを戦略的に進めるため、ターゲットに沿った情報発信や移住検討者の相談を受け入れる体制を構築します。

笑顔あふれる『子育て・教育環境づくり』

子育てにかかる負担軽減に向け、小中学校の給食費を4月から9月まで無償とするほか、認可保育所等に通う低所得世帯の第1子保育料の無償化や、届出保育施設に通う低所得世帯に対する利用料助成を第1子まで拡充します。

持続可能で暮らしやすい『都市空間づくり』

まちづくり分野におけるDXを推進するため3D都市モデルを整備するほか、路線バスでICカード決済を可能とするため、国や県等と共同で導入に向けた助成を行います。

プロジェクト の推進

人づくりNo.1をめざすまちプロジェクト

食と農のまち推進プロジェクト

北部地域活性化プロジェクト

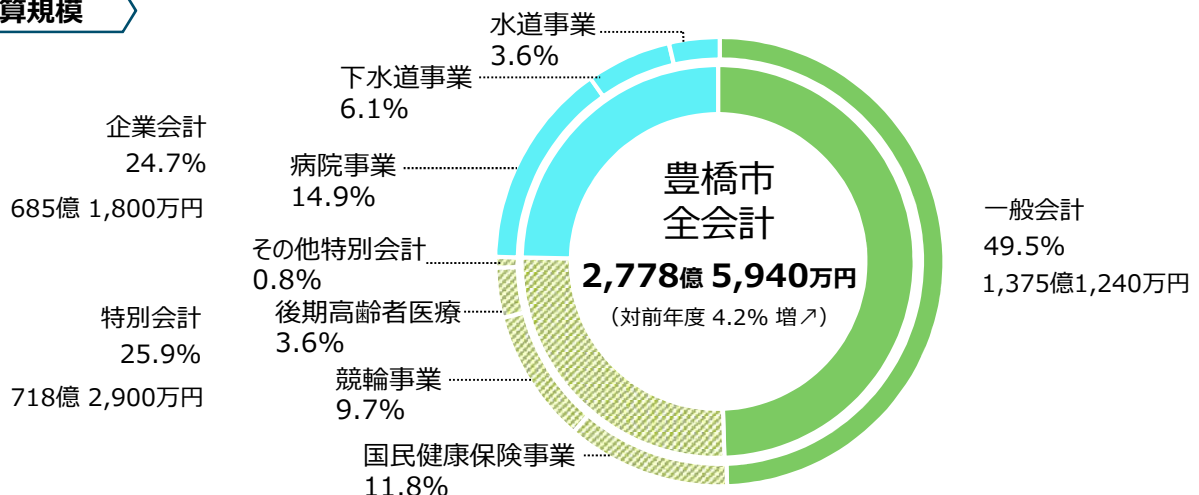
ナショナルサイクルルートをいかした 体験型観光推進プロジェクト

市民生活の 安定

物価高騰対策・新型コロナウイルス感染症対策

ウクライナ情勢に端を発した物価高騰に対して、プレミアム付電子商品券事業や制度融資、信用保証料の助成などにより、事業者に対する必要な支援を継続して実施します。また、国において5類感染症への移行が決定した新型コロナウイルス感染症に係る体制を引き続き維持します。

予算規模



会計別予算

一般会計

1,375 億 1,240 万円(対前年度 71億9,240万円 5.5%増↗)

法人保育所・認定こども園整備に対する助成のほか、駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発等事業の増により、全体で5.5%増加し令和3年度以来2年ぶりに過去最大規模となりました。

特別会計

718 億 2,900 万円(対前年度 27億3,100万円 4.0% 増↗)

被保険者の減少に伴う国民健康保険事業で減となったものの、ミッドナイト競輪などのインターネット投票の好調による競輪事業の増や施設整備に伴う総合動植物公園事業の増などにより、特別会計全体で4.0%増加しました。

競輪事業	268億5,100万円 12.2% 増↗	国民健康保険事業	328億1,000万円 2.6% 減↘
総合動植物公園事業	19億5,800万円 22.2% 増↗	公共駐車場事業	1億4,500万円 11.6% 減↘
母子父子寡婦福祉資金 貸付事業	2,500万円 16.7% 減↘	後期高齢者医療	100億4,000万円 3.6% 増↗

企業会計

685 億 1,800 万円(対前年度 13億5,300万円 2.0% 増↗)

水道事業における配水場などの整備事業をはじめ、下水道事業におけるストックマネジメント事業や病院事業における感染症専用病棟の整備事業などにより、企業会計全体で2.0%増加しました。

水道事業	101億3,100万円 1.5% 増↗	下水道事業	170億5,300万円 2.5% 増↗
病院事業	413億3,400万円 1.9% 増↗		

〔参考〕前年度当初予算額

一般会計	1,303 億 2,000 万円	特別会計	690 億 9,800 万円	企業会計	671 億 6,500 万円
全会計	2,665 億 8,300 万円				

一般会計の財政状況

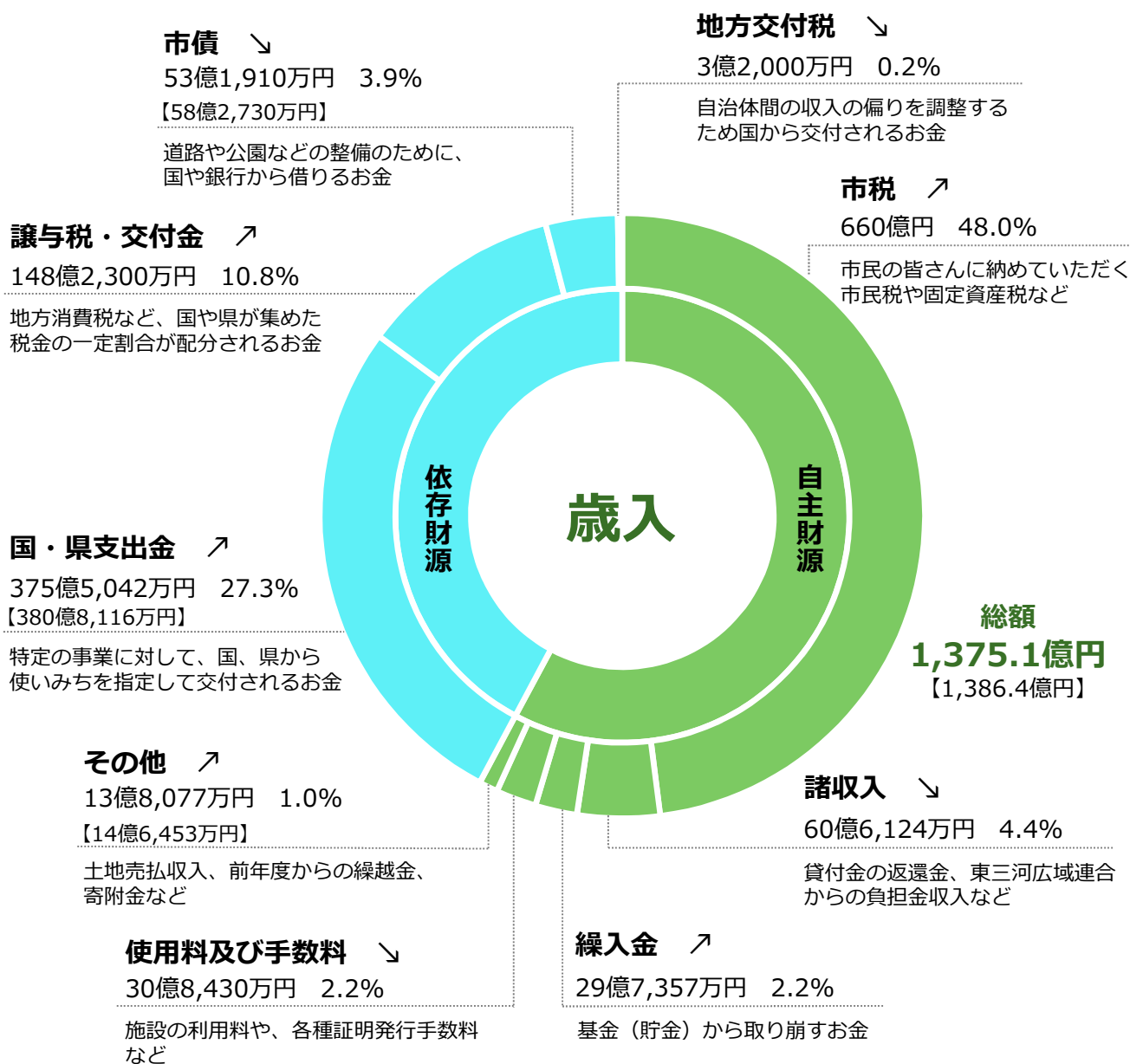
令和5年度 歳入の内訳

歳入総額 1,375億1,240万円

- ・市税収入は、給与所得の増加に伴う個人市民税の増や、ウィズコロナの状況下で経済が緩やかに回復の兆しがみられることによる法人市民税の増、家屋の新增築件数の増に伴う固定資産税の増などを見込み、前年度比2.6%増の660億円
- ・普通交付税は不交付団体となる見込みで、令和2年度以来3年ぶりに計上を見送り
- ・市債は、ごみ処理施設整備事業や臨時財政対策債の減などにより前年度比8.5%減の53億円

歳入

P.5~7の【 】内は、国の補正予算に伴い令和5年度当初予算の前倒しとして、令和4年度の補正予算に計上し繰り越すものを加えた額



自主財源 … 市が自主的に収入できる財源。この割合が高いほど安定的で自主的な財政運営が可能であるといえる

依存財源 … 国や県の基準により交付または割り当てられる財源

令和5年度 歳出の内訳

歳出総額 1,375億1,240万円

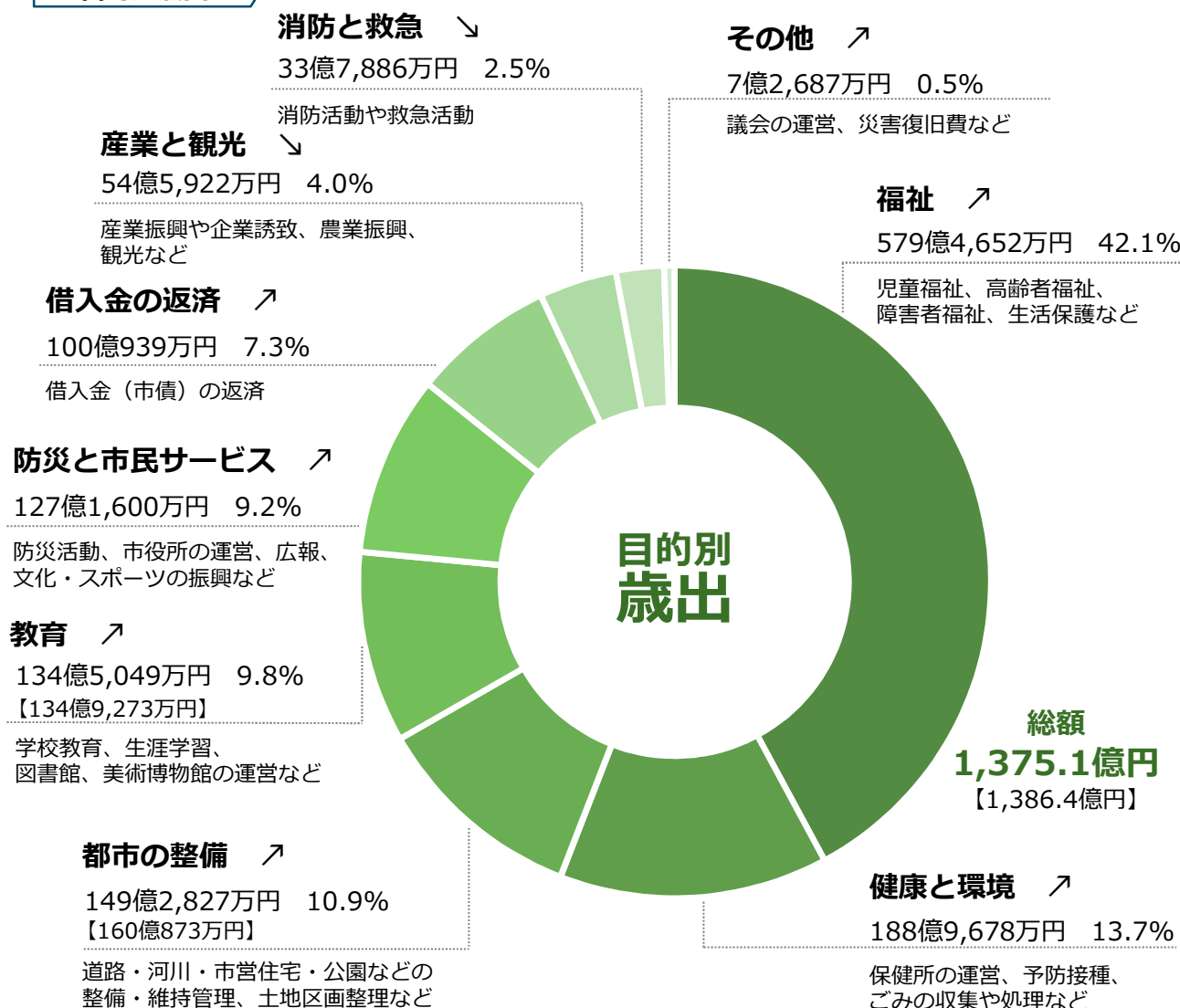
【目的別】

- 福祉（民生費）：法人保育所・認定こども園整備費補助金や生活保護扶助事業、障害福祉サービス等給付事業の増などにより6.5%増
- 都市の整備（土木費）：豊橋新城スマートインターチェンジ（仮称）整備事業や、明海町・老津町28号線整備事業の増などにより8.5%増

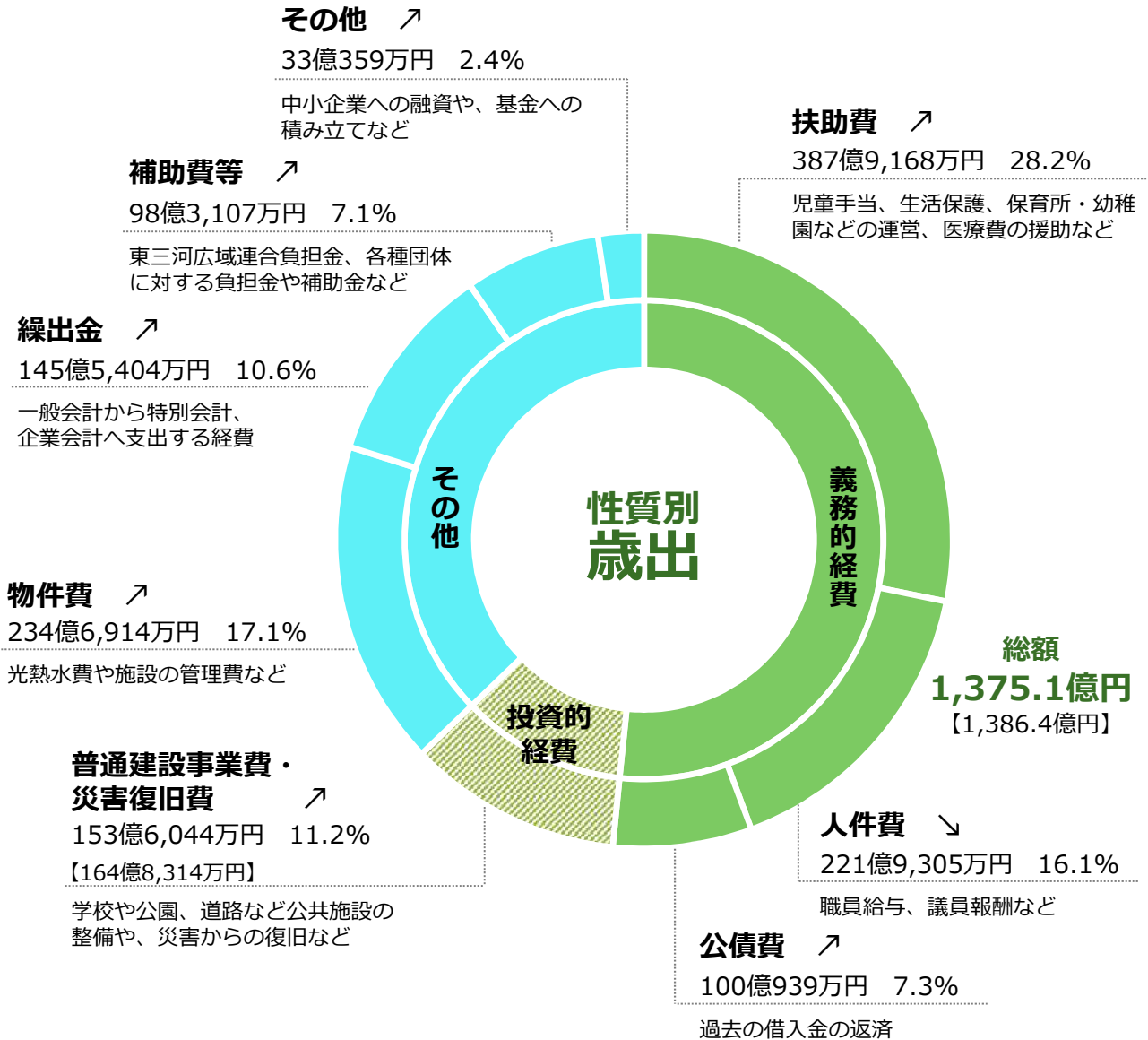
【性質別】

- 義務的経費：障害福祉サービス受給者の増加に伴う扶助費の増、過年度の施設整備等に伴い借り入れた市債の償還金の増による公債費の増などにより全体で2.4%の増
- 投資的経費：法人保育所・認定こども園整備に対する助成のほか、駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発等事業の増などにより全体で3.5%の増

目的別歳出



性質別歳出



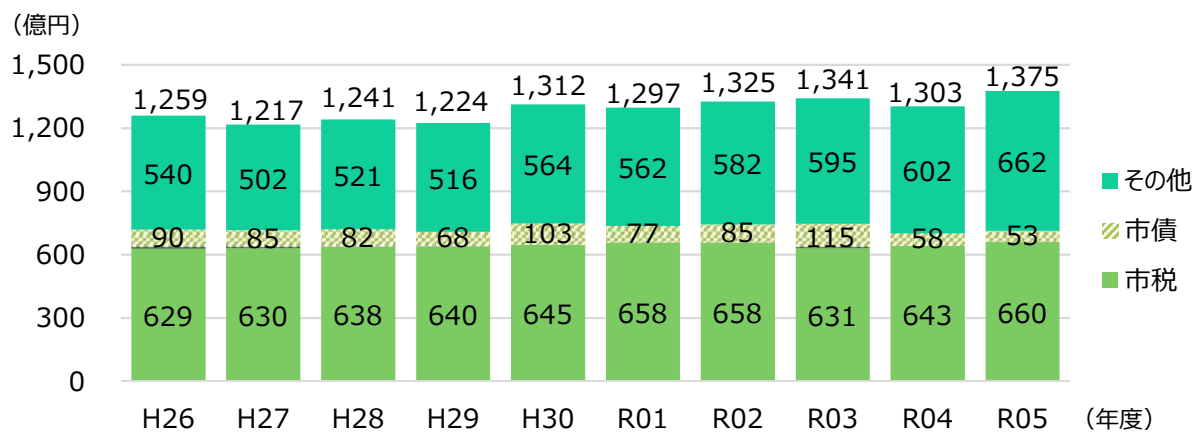
性質別経費の比較

	義務的経費	投資的経費	その他
R05	709.9億円	153.6億円	511.6億円
(対前年度)	(+16.4億円)	(+5.2億円)	(+50.4億円)
R04	693.6億円	148.4億円	461.2億円

義務的経費 … 支出することが法令などによって義務付けられ、任意に節減することができない経費

予算規模の推移

歳入・歳出総額



市税割合(%)	50.0	51.8	51.4	52.3	49.2	50.7	49.6	47.1	49.3	48.0
市債依存度(%)	7.2	7.0	6.6	5.5	7.8	5.9	6.4	8.6	4.5	3.9
一般財源比率(%)	65.3	67.3	66.2	66.2	63.6	63.2	61.4	60.4	62.9	61.9
自主財源比率(%)	62.6	62.4	62.0	63.1	61.5	62.4	59.4	57.0	59.7	57.8

市税

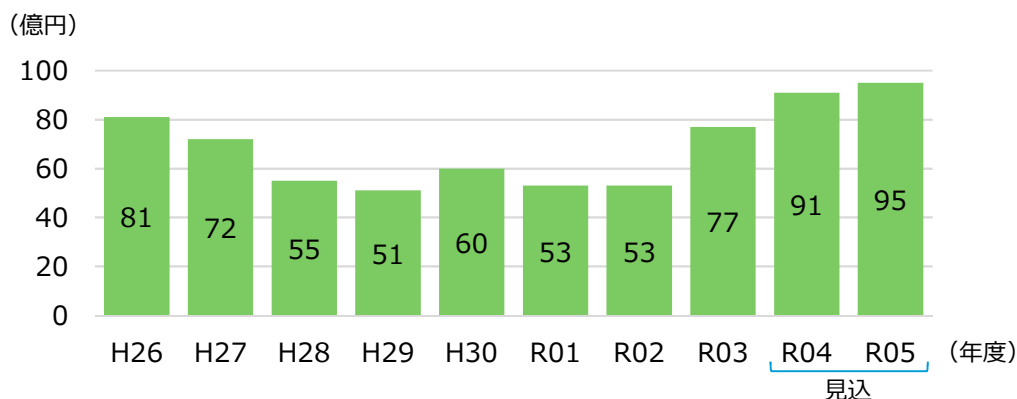
項目	R05年度	R04年度	増減	備考	
市税	660.0億円	643.0億円	+17.0億円		
主な内訳	個人市民税	233.9億円	222.5億円	+11.4億円	給与所得の増
	法人市民税	35.1億円	33.7億円	+1.4億円	企業業績の状況に伴う増
	固定資産税	286.2億円	284.7億円	+1.5億円	家屋の新增築分の増
	市たばこ税	25.1億円	23.7億円	+1.4億円	

地方交付税

項目	R05年度	R04年度	増減
地方交付税	3.2億円	7.2億円	△4.0億円
うち普通交付税	—	1.7億円	皆減
臨時財政対策債	—	3.3億円	皆減
普通交付税+臨時財政対策債	—	5.0億円	皆減

財政調整基金

年度末残高の推移



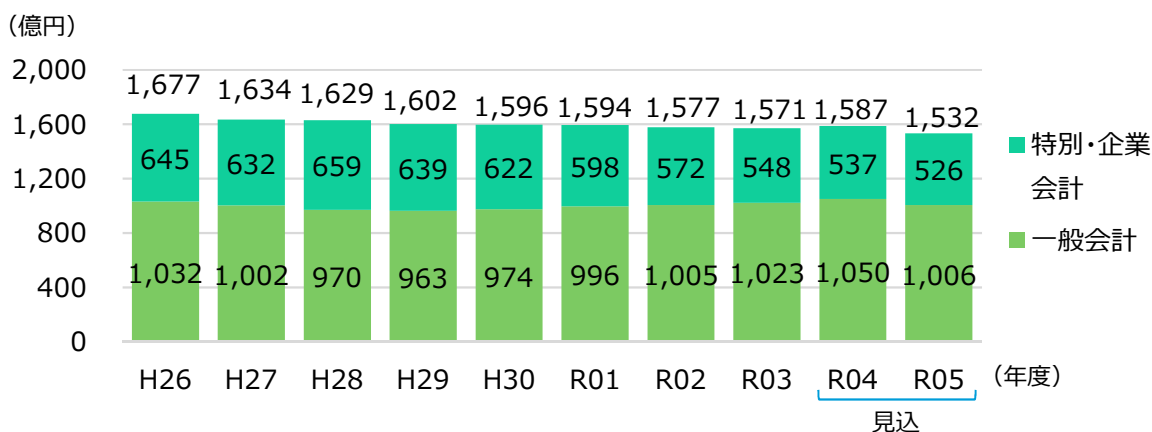
R05年度中の増減見込

積立	約20億円	(R04年度見込：約26億円)	前年度決算剰余金 × 1/2 + 利子
取崩	約16億円 (※)	(R04年度見込：約12億円	【R04年度当初予算：約25億円】)

※R05年度当初予算約26億円にR05年度中の取り崩し分の留保額を考慮

地方債

年度末残高の推移



項目	R05年度末(見込)	R04年度末(見込)	増減
一般会計	1,006億円	1,050億円	△44億円
うち建設地方債	787億円	796億円	△10億円
うち特別地方債 (※)	219億円	254億円	△34億円
全会計	1,532億円	1,587億円	△55億円

※特別地方債は、減税補てん債、臨時財政対策債の合計を計上しています。

重点的に推進する取組み



「人づくりNo.1のまち」をめざします



本市のまちづくりに携わる人を育てていくために、「人づくりNo.1をめざすまちプロジェクト」のなかで、子育てや教育の分野に重点を置いた様々な施策を進めていきます。

令和5年度主な取組み

1. 子育てしやすい環境づくり

- ◆ 学校給食を4月から9月まで無償で提供します [掲載ページ 16] **新規**
 - ◆ 高校生世代の子どもの通院医療費を無償化します **新規** [掲載ページ 30]
 - ◆ 低所得世帯の第1子保育料無償化など経済的負担軽減を図ります **新規** [掲載ページ 17]
 - ◆ 保育士確保のための取組みをこれまで以上に充実します **新規** [掲載ページ 18]
 - ◆ 所得制限なく出産後の家事負担を軽減するクーポンを配布します **新規** [掲載ページ 19]
 - ◆ 子ども連れの来庁者のために市役所内にキッズスペースを設置します **新規**
 - ◆ 「あそび場・まなび場」づくりを地区市民館で取り組みます **新規**
- } [掲載ページ 21]



2. 子どもが学びやすい環境づくり

- ◆ 学校等へ行きづらさを感じる子どもの居場所「エールーム」を新設します **新規** [掲載ページ 33]
- ◆ 小学校にコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を導入します **新規**
 学校・家庭・地域が一体となって学校運営や課題解決に取り組むコミュニティ・スクールを導入し、地域とともにある学校づくりを推進します。
 【連絡先】教育政策課 (0532) 51-2819 kyoikuseisaku@city.toyohashi.lg.jp



3. 若者が成長、ステップアップしやすい環境づくり

- ◆ 産業人材を育成する環境づくりを進めます **新規** [掲載ページ 22]
 - ◆ 市内企業の採用広報への支援を拡充します **拡充**
 - ◆ 奨学金返還支援補助金の対象者を拡大します **拡充**
 - ◆ 市内企業の働きやすい職場づくりへの支援を拡充します **拡充**
- } [掲載ページ 35]



4. 市内外への情報発信

- ◆ 「選ばれるまち」をめざし、戦略的に情報を発信します **新規** [掲載ページ 25]

■ 「食」と「農」の高付加価値化

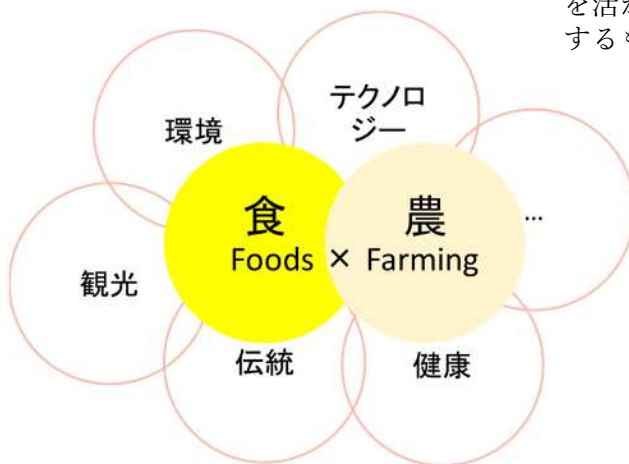
持続可能な「食と農のまち」をめざします

豊橋市の強みである農業のポテンシャルを生かした「とよはしフードカルチャー」の創造をめざし、「食と農のまち推進プロジェクト」において、「食」と「農」に関連する施策を一体的に推進します。

■ プロジェクトのコンセプト

「食」×「農」×「〇」

「食」（おいしくて健康にいいもの）と「農」（地域の特色を活かした農業）を核として、テクノロジー、環境など関連するものを掛け合わせていく。



■ プロジェクトのめざす未来

生産者から消費者までが、食と農で有機的に結びついている

スタートアップとの共創により、食と農の関連産業が発展している

とよはしフードカルチャー

「農業をやるなら豊橋で」と全国に認知されている

市民は持続可能な食と農に困まれ、健康で豊かに暮らしている

令和5年度の主な取組み

1. 地産地消活動推進の取組み

[掲載ページ 36]

- ◆ 豊橋産農産物活用推進補助金 **新規**
- ◆ 地産地消メニュー提供店舗PRイベント **新規**
- ◆ 飲食店等と農家のマッチングによる地産地消の推進



2. アグリテック実証支援の取組み

◆ 地域農業の課題解決をめざした実証開発プロジェクト

地域内外のスタートアップと農業者等との共創により、新製品・新サービスの開発を進めます。

【連絡先】

地域イノベーション推進室

(0532) 51-2440

chiiki-innova@city.toyohashi.lg.jp

3. 食生活改善（野菜摂取促進）の取組み

[掲載ページ 44]

◆ ICTを活用した食生活を改善する環境づくり **新規**

4. 食品ロス削減の取組み

◆ 食品ロス削減の周知・啓発

飲食店や小売店等の事業者と連携して、できるだけ食品ロスを出さないライフスタイルの普及・定着に向けた周知・啓発に取り組みます。

【連絡先】

ゼロカーボンシティ推進課

(0532) 51-2414

zeroco2@city.toyohashi.lg.jp

スマートインターチェンジを活用し 北部地域の活性化に向けた取組みを進めます

「まちの玄関口」となるスマートインターチェンジの整備を契機として、新たな産業や交流の振興を図るため、地域の特色である豊かな自然・農業・馬越長火塚古墳群などを活用して北部地域の土地利用を検討していきます。

令和5年度の主な取組み

豊橋新城スマートIC（仮称）周辺土地利用検討事業 [掲載ページ 24]

◆ 豊橋新城スマートIC（仮称）周辺土地利用構想の策定 **新規**



産業拠点形成に向けた取組み

◆ 産業用地候補地の検討などの実施

スマートインターチェンジ周辺における新たな産業用地の確保に向け、候補地の検討などを行います。

【連絡先】

産業政策課(0532) 51-2640

sangyoseisaku@city.toyohashi.lg.jp

古墳群や地域資源を活用した活性化の取組み

◆ 史跡馬越長火塚古墳群の保存と活用の検討

史跡の価値や魅力を地域住民と共有し、古墳を活用したまちづくりを協働・連携して検討します。

【連絡先】

美術博物館(0532) 51-2882

bijutsu@city.toyohashi.lg.jp

[予算概要説明資料 関連ページ] 62

地域資源を活用した「体験型観光」の 強化に取り組めます

「体験型観光」の強化を図るため、地域資源を活用した体験型観光商品の造成・磨き上げを希望する事業者の支援を行います。また、道の駅「とよはし」で「体験型観光」の情報発信を行います。

令和5年度の主な取組み

体験型観光の推進

◆ 体験型観光商品の造成・磨き上げの支援を実施 **新規**

豊橋の魅力を感じることができる体験型観光に取り組む事業者への伴走支援を実施し、体験型観光を推進します。

【連絡先】

観光プロモーション課

(0532) 51-2430

kanko@city.toyohashi.lg.jp



◆ 道の駅「とよはし」で体験型観光の情報発信を実施

新たに動画投稿サイト等を活用し、道の駅「とよはし」で体験型観光の情報発信を進めます。

[予算概要説明資料 関連ページ] 60

【参考】SDGs (持続可能な開発目標)の推進



SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。

17の目標と169のターゲットで構成され、「誰一人として取り残さない世界の実現」を基本理念に掲げています。



- 豊橋市では、様々な施策にSDGsの理念を取り入れ、行政課題の解決や地域活性化に役立てています。

新年度におきましても、誰もが安心して暮らせる地域をめざし「持続可能な豊橋」を推進します。なお、「予算の見どころ」掲載の各取組みには、関連するSDGsの目標を記載しています。



学校給食の無償提供等で 子育て世帯の経済的負担を軽減します

4月から9月まで給食の無償提供等で保護者の経済的な負担を軽減し、「子育てしやすい環境づくり」を推進します。



ポイント

1. 学校給食の無償提供 **新規**

市立小中学校及びくすのき特別支援学校（小・中学部）の児童生徒を対象に、学校給食を4月から9月まで無償で提供します。

負担軽減

小学生：1人あたり半年で約19,000円（1食あたり240円）
中学生：1人あたり半年で約23,000円（1食あたり280円）

2. 学校給食費物価高騰対策臨時支援給付金（豊橋市独自） **新規**

食物アレルギー等で給食を喫食していない児童生徒や市立以外の小中学校等に通う児童生徒の保護者、就学援助等を受けている世帯で、市内在住の方を対象に4月から9月まで支援を行います。

給付額

小学生：4,400円/月 中学生：5,200円/月
（特別支援就学奨励費の半額補助を受けている場合、
小学生2,200円/月、中学生2,600円/月）

3. 給食用食材の物価高騰への対応 **新規**

豊橋市が提供する学校給食の食材について、昨今の物価高騰による価格上昇分は市が負担し、保護者負担を増やすことなく給食の質を確保します。

1食あたり

小学生：25円 中学生：30円

事業費

軽減額 6億9,870万円
事業費 1億4,006万円

お問い合わせ

保健給食課

(0532) 51-2821



hokenkyushoku@city.toyohashi.lg.jp





低所得世帯の第1子保育料無償化など 経済的負担軽減施策の拡充を行います！！

子育て世帯の経済的な負担軽減を図るため、市独自で行っている保育料等の軽減について、さらなる拡充を行います。

<h3>1 低所得世帯 第1子保育料無償化</h3> <p>《対象施設》 認可保育所・認定こども園</p> <p>《対象児童》 0～2歳の第1子</p> <p>《所得要件》 年収360万円未満 相当世帯</p> 	<h3>2 低所得世帯 第1子利用料助成</h3> <p>《対象施設》 届出保育施設</p> <p>《対象児童》 0～2歳の第1子</p> <p>《所得要件》 年収360万円未満 相当世帯</p> 	<h3>3 休日保育等の 利用料の軽減</h3> <p>《対象事業》 休日保育・病児保育 一時預かり</p> <p>《対象児童》 ①市民税非課税世帯 の利用者 ②同日に同一施設を 世帯で2人以上利用した 場合の2人目以降の子</p> 
---	--	--

ポイント

認可保育所・認定こども園

1. 低所得世帯第1子の保育料を無償化します **新規**
年収360万円未満相当世帯の第1子の保育料を無償化します。

届出保育施設

2. 届出保育施設利用料の助成範囲を拡大します **新規**
届出保育施設の利用料助成（月額5,000円上限）について、年収360万円未満相当世帯の第1子も対象とします。

休日保育等

3. 休日保育等の利用料を一部軽減します **新規**
市民税非課税世帯の休日保育及び病児保育の利用料を無償化します。
また、休日保育を利用した子どもが普段通っている園を平日に休んだ場合や、同じ日に同じ施設の休日保育等を世帯で2人以上利用した場合の2人目以降の利用料も無償化します。

事業費

事業費 488万円
軽減額 891万円

お問い合わせ

保育課
(0532) 51-2309・2316
hoiku@city.toyohashi.lg.jp



■ 保育士確保策の拡充

保育士確保のための取組みを これまで以上に充実します！！



さらなる保育士確保のため、潜在保育士の復職支援や保育士をめざす若い世代を増やす取組み、良好な保育職場環境づくりなどを行い、保育の受け皿確保、保育サービスの充実につなげます。

保育士確保のための取組み

1. 潜在保育士の復職前短期雇用に対する助成



2. 各種財政支援の拡充



3. 保育士確保のためのフェアの開催



4. 現役保育士への研修の充実



ポイント

1. **潜在保育士の復職前短期雇用に対する助成を行います** 新規
復職をめざす潜在保育士を支援するため、本格復職に先立ち短期雇用した園に対し費用を助成します。
2. **各種財政支援を拡充します**
 - (1) **スポット支援員を配置する園への助成を行います** 新規
保育士の負担を軽減し、より安全な保育を実施するため、登園時の繁忙な時間帯やプール活動時など、一部の時間帯にスポット的に支援者を配置する場合にかかる費用について助成します。
 - (2) **長時間開所する園への助成を拡充します** 拡充
11時間を超えて開所している保育所や認定こども園の保育士の増員や処遇改善につながるよう、市独自の助成を拡充します。
 - (3) **保育所で働く職員の処遇改善がより図られるようになります** 拡充
保育士の処遇改善がより進むよう、保育所人件費補助金の運用見直しを行います。
3. **保育士確保のためのフェアを官民一体となって開催します** 新規
潜在保育士から子どもまで、幅広い方に保育の魅力を発信し、将来の保育士確保につなげるフェアを官民一体となって開催し、保育士確保に取り組みます。
4. **良好な保育職場環境をつくるための研修を充実します** 拡充
よりよい保育職場環境をつくり現役保育士の離職防止につなげるため、ハラスメント防止など様々な研修を行います。

事業費

4億1,351万円

お問い合わせ

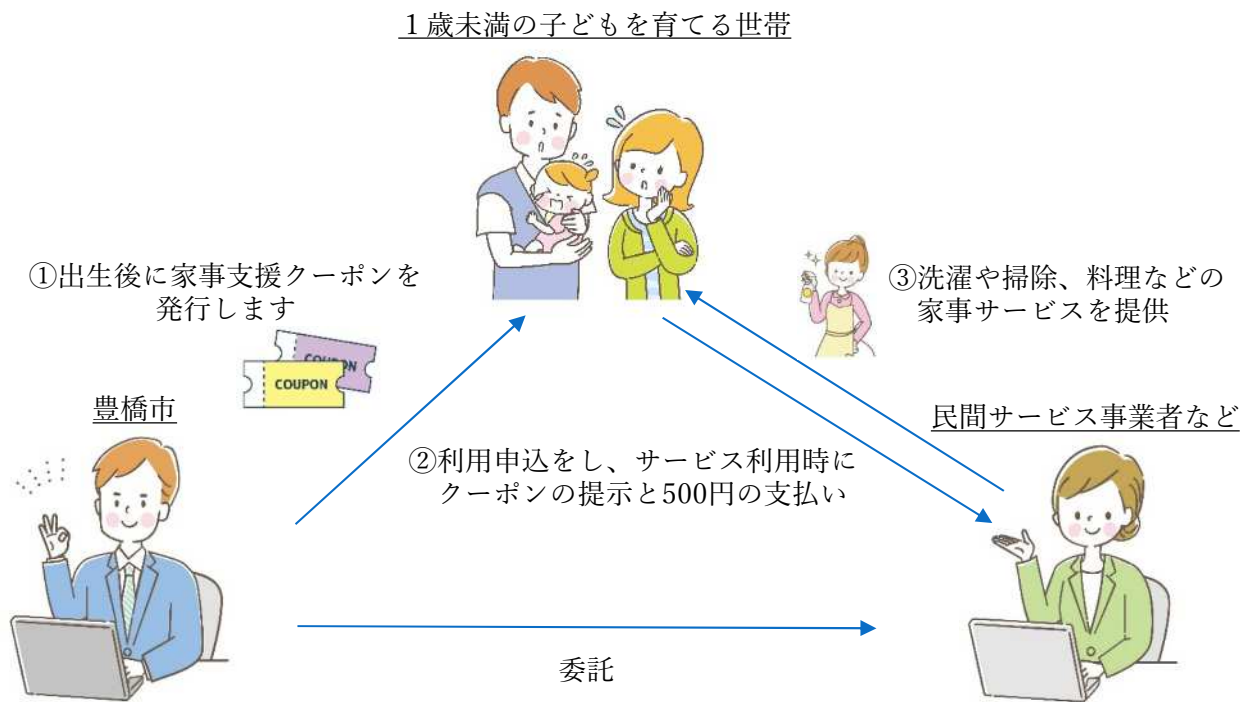
保育課
(0532) 51-2316・2309
hoiku@city.toyohashi.lg.jp





出産後の家事負担を軽減 所得制限なし! 1回あたり500円で 家事支援サービスが利用できます

出産後の家事・育児負担の軽減を図るため、1歳未満の子どもを育てる世帯が家事支援（家事代行）サービスを気軽に利用できるクーポンを配布します。



ポイント

1. 乳児期の子育てをサポート

生後1歳未満の子育ては、数時間おきの授乳やおむつ替え、夜泣きによる不眠などにより肉体的にも精神的にも疲労を感じ、こうした中での家事との両立が大きな負担となっていることから、1歳未満の子どもを育てる世帯における家事負担の軽減を図ります。

2. ワンコインで家事支援サービスを利用できます 新規

家事支援サービスをワンコインで利用することができるクーポンを配布します。家事支援サービスを行う民間事業者等が自宅を訪問し、洗濯や清掃、料理などの家事を行います。

事業費

991万円

お問い合わせ

子育て支援課

(0532)51-2233

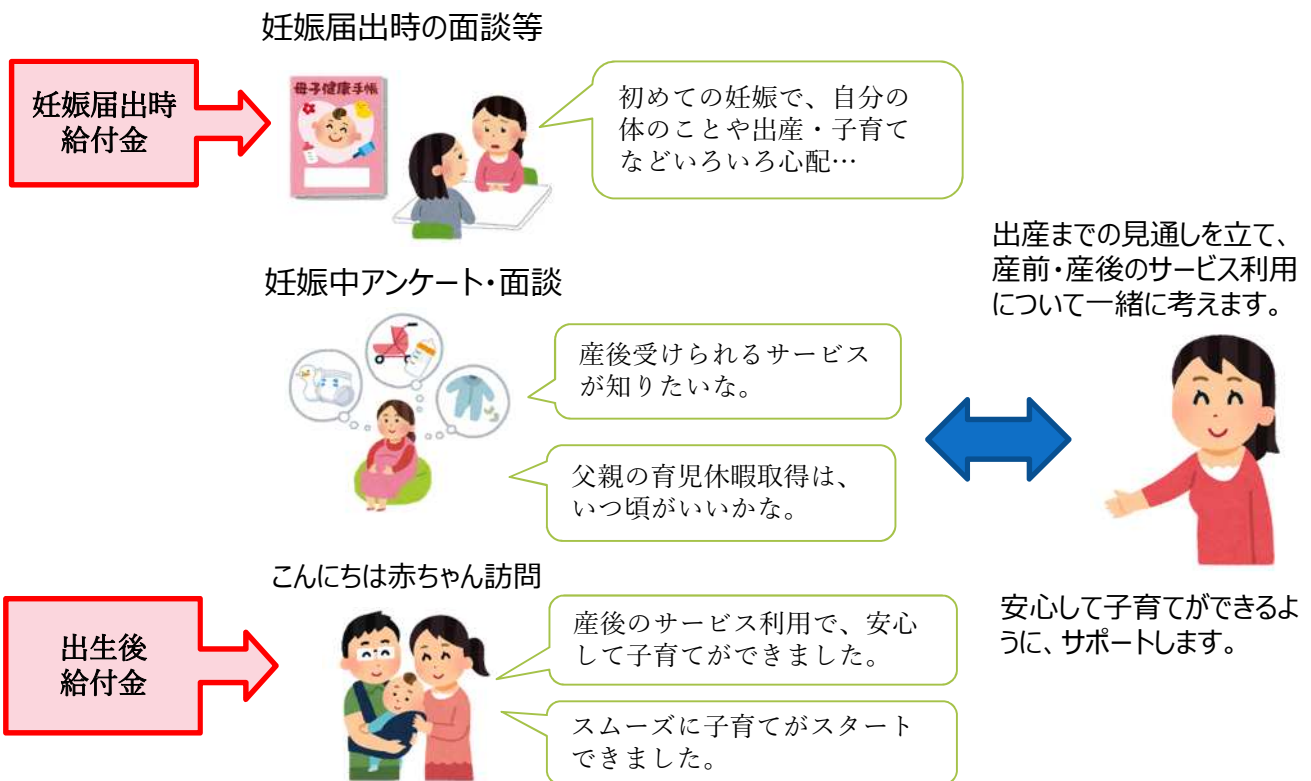
kosodate@city.toyohashi.lg.jp

利用金額	1回あたり500円（2～3時間）
利用回数	1歳未満児ひとりにつき6回



妊婦・低年齢期の子育て世帯へ伴走型相談支援と 経済的支援を一体的に実施します

妊婦・低年齢期の子育て世帯に対し、ニーズに即した支援につなぐ伴走型相談支援と、経済的負担軽減を図る出産・子育て応援給付金の給付を一体的に実施します。



ポイント

1. 伴走型相談支援の充実 拡充

安心して出産・子育てができるよう、妊婦や低年齢期の子育て世帯に寄り添う支援を実施します。

妊娠届出時の面談やこんにちは赤ちゃん訪問に加えて、妊娠中（おおむね妊娠8か月）にアンケートを行い、面談等を必要な方に行います。

2. 応援給付金の給付

対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届を提出した妊婦 ・出生届を提出した出生児を養育する方
給付額	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦ひとり5万円 ・出生児ひとり5万円

事業費

2億5,821万円

お問い合わせ

こども保健課

(0532) 39-9160

kodomohoken@city.toyohashi.lg.jp

こども未来館

(0532) 21-5528

coconico@city.toyohashi.lg.jp

■ 子育て世帯の手続き負担の緩和



市役所内にキッズスペースを設置します

子どもを連れて来庁しても安心して手続きができるよう、新たに市役所東館1階にキッズスペースを設置するとともに、試行的に一時預かりを行います。

ポイント

1. 市役所内にキッズスペースを設置します **新規**

保護者が子ども連れで来庁した際、手続きの待ち時間に子どもを飽きさせることなく、市役所での時間を過ごせるようになります。

2. 一時預かりを行います **新規**

試行的にキッズスペースに保育士を配置し、一時預かりができる体制にすることにより、保護者の方がスムーズに手続きを行うことができます。

事業費

228万円

お問い合わせ

子育て支援課 (0532) 51-3161
kosodate@city.toyohashi.lg.jp



[予算概要説明資料 関連ページ] 36

■ 身近な地区市民館を活用したモデル事業



地区市民館を活用した

子育て世代の「あそび場・まなび場」づくりに取り組みます



南部地区市民館をモデル館として、和室の一部を改修し、未就園児とパパママが身近なところで気軽に立ち寄り交流できる「あそび場」をつくります。また、子育て世代のニーズに沿った講座を併せて開催するなど「まなび場」としての機能も充実します。

ポイント

1. あそび場づくり【第2和室をプレイルームへ変更】 **新規**

新しいおもちゃやベビーベッド等を設置し、未就園児とパパママが気軽に遊べる「あそび場」をつくとともに、利用者同士の交流の場も設けます。

■開設日時 週4日(火・水・土・日)9時30分から16時

■利用料金 無料

2. まなび場づくり【子育て世代に特化した講座等の充実】 **拡充**

子どもがプレイルームで遊ぶ傍ら、パパママが子育て講座に参加できる「まなび場」の充実を図ります。

■講座 パパママ教室・幼児ふれあい教室等

事業費

260万円

お問い合わせ

生涯学習課[1,2] (0532) 51-2849
shogaigakushu@city.toyohashi.lg.jp

子育て支援課[2] (0532) 51-2382
kosodate@city.toyohashi.lg.jp

こども未来館[1] (0532) 21-5528
coconico@city.toyohashi.lg.jp

[予算概要説明資料 関連ページ] 75



産業人材を育成する環境づくりを進めます

産業人材を育成するため、産学官が連携した推進組織（プラットフォーム）の形成を進め、リスキリングを中心とした学び直しの環境をつくります。



ポイント

- 1. 企業や個人の現況調査・分析** 新規
 市内外の企業、個人へのアンケート調査や社会トレンドを踏まえ、今後本市がとるべき戦略を立案するとともに、具体的な実施案を検討します。
- 2. 産学官連携プラットフォームの形成** 新規
 産学官が連携し、学び直しを支援するための推進組織（プラットフォーム）を形成します。

事業費

1,007万円

お問い合わせ

政策企画課[1,2]
 (0532) 51-3151
seisakukikaku@city.toyohashi.lg.jp

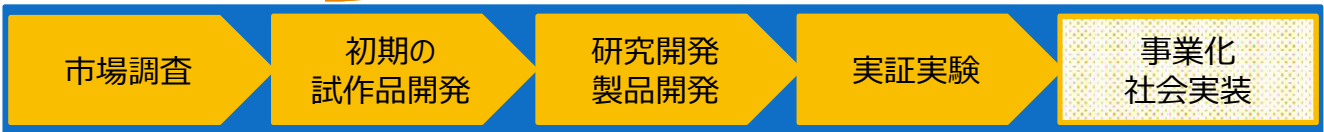
産業政策課[1,2]
 (0532) 51-2436
sangyoseisaku@city.toyohashi.lg.jp

商工業振興課[1,2]
 (0532) 51-2437
shokogyo@city.toyohashi.lg.jp



地域産業に変革をもたらす新技術や新事業を創出します

地域事業者及び大学等による新技術や新事業創出を促進するために、市場調査から初期の試作品開発や研究開発、製品開発、実証実験まで各フェーズに応じたきめ細かな支援を行うことで、着実な事業化と社会実装をめざします。



ポイント

事業費

1. 未来産業創出事業補助金 新規

6,980万円

(1) 事業化可能性調査事業

市内事業者が事業化の成功率を高めるために行う製品やサービスの実現可能性や市場性の調査等を支援します。

(2) 共同研究支援事業

市内事業者と大学等が共同して行う事業化を目的とした新技術や新製品の研究開発を支援します。

(3) 新事業開発支援事業

市内事業者が単独もしくは他事業者と共同して行う新製品や新サービスの開発を支援します。

(4) 社会実験支援事業

市内事業者が革新的な技術を用いた製品やサービスの社会実装を目的として行う、地域を巻き込んだ実証実験を支援します。

(5) 産学共創プラットフォーム共同研究参画支援事業

市内事業者が国立研究開発法人科学技術振興機構より採択を受けた産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム（OPERA）に参画して実施する新技術や新製品の研究開発を支援します。

(6) 次世代人材育成事業

学生グループが市内を拠点に行う次世代産業人材育成のための活動を支援します。

お問い合わせ

地域イノベーション推進室

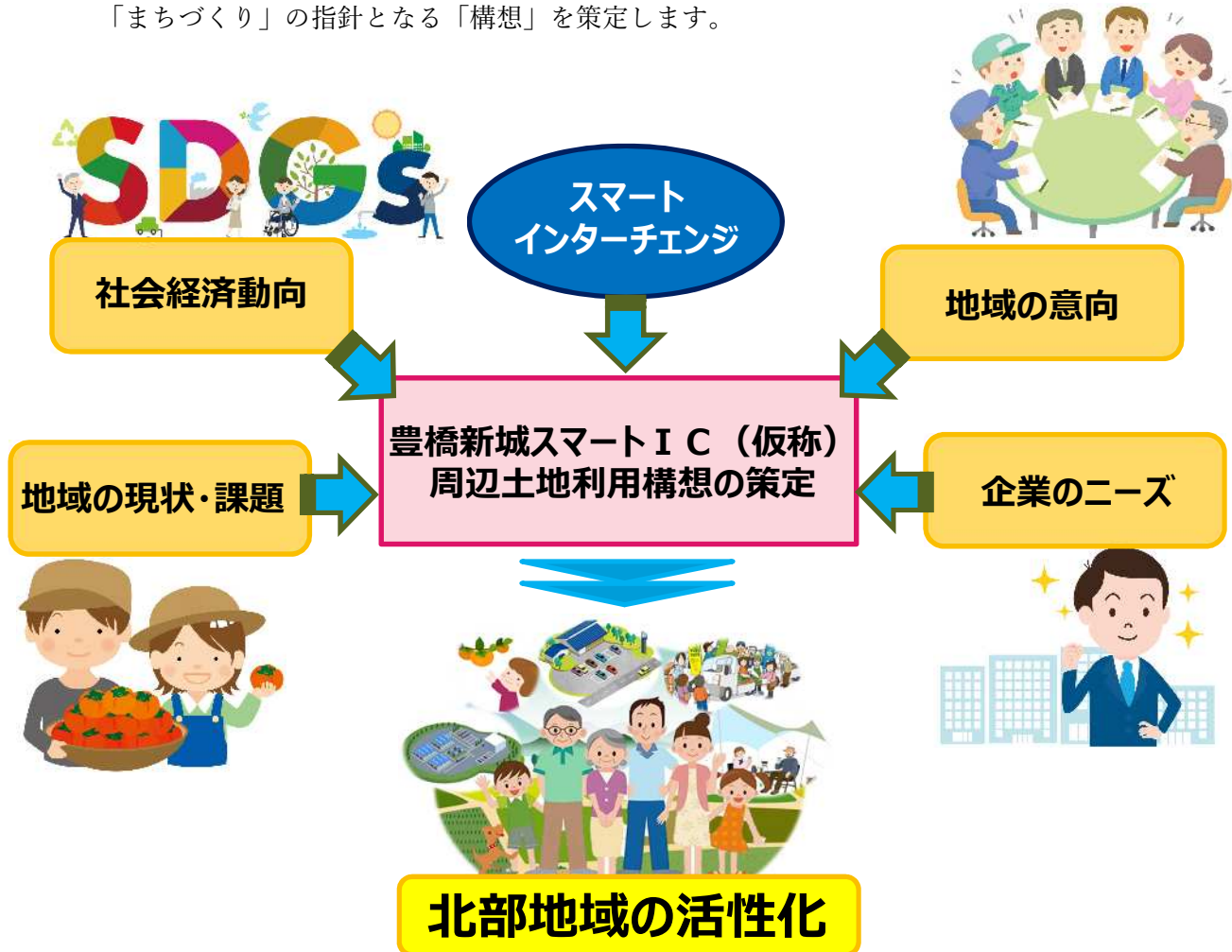
(0532) 51-2440

chiiki-innova@city.toyohashi.lg.jp



スマートインターチェンジ周辺の 「まちづくり」について地域とともに検討します

北部地域における従来の農業を中心とした土地利用から、スマートインターチェンジの整備を契機に、地域の特色を活用して将来にわたり持続可能なまちを形成するため、「まちづくり」の指針となる「構想」を策定します。



ポイント

- 1. 豊橋新城スマートIC（仮称）周辺土地利用構想の策定** 新規
 スマートインターチェンジの整備効果を最大限に活用し、その周辺地域において活性化に向けた「まちづくり」を地域住民と一緒に考え、指針となる「土地利用構想」を策定します。
 「土地利用構想」は、地域の現状や課題を整理し、地域の意向や進出が期待される企業のニーズ、社会経済動向などを踏まえ策定します。

事業費

2,140万円

お問い合わせ

北部地域活性化プロジェクト事務局
 道路建設課
 (0532)51-2520
 dorokensetsu@city.toyohashi.lg.jp

土地利用構想とは ...

地域とともにまちの将来像を定め、その実現に向けた、地域に相応しい土地利用の誘導を図るなど、まちづくりの方向性を示すものです。



「選ばれるまち」をめざし、戦略的に情報を発信します

豊橋のまちの魅力をSNS等の様々な手法を活用して、ターゲットに応じて戦略的に届けることで、定住・移住の促進、関係人口の拡大につなげます。



② PR人材育成・活用

- 豊橋の魅力発掘イベントの実施
- 吉本興業グループと連携した取組み
- 定住・移住アドバイザーの活用
- 情報発信アドバイザーの活用 等

① SNS等を活用した情報発信

③ 様々な支援・連携

- 移住支援金の拡充 等

ポイント

1. **SNS等を活用した戦略的情報発信** 新規
 ターゲットに応じて適切な広告媒体を選択し、情報発信アドバイザー等と連携の上、戦略的に市内外に情報を発信します。
2. **豊橋の魅力発掘イベントの実施** 新規
 新たな魅力の創出をめざし、市内外の参加者からアイデアを募るイベントを実施します。
3. **吉本興業グループと連携した取組み** 新規
 令和4年4月に締結した包括連携協定に基づき、まちのイメージアップや職員のスキル向上をめざすため、以下の取組みを行います。
 (1) 「住みます芸人」の活用
 (2) BSよしもとへの職員派遣
4. **定住・移住アドバイザーの活用** 新規
 定住・移住希望者の相談支援及び情報発信などを担う定住・移住アドバイザーを設置します。
5. **情報発信アドバイザーの活用** 拡充
 情報発信・メディア関連の豊富な経験を有するアドバイザーを活用し、市内外に向けて効果的な情報発信を行います。
6. **移住支援金の拡充** 拡充
 一定の要件を満たす東京圏からの移住者への支援金について、18歳未満の子ども一人あたりの加算金額を、30万円から100万円に引き上げます。

事業費

3,436万円

お問い合わせ

人事課 [3(2)]
 (0532) 51-2039
 jinji@city.toyohashi.lg.jp

政策企画課 [1,2,4]
 (0532) 51-3151
 seisakukikaku@city.toyohashi.lg.jp

広報広聴課 [1,3(1),5]
 (0532) 51-2165
 kohokocho@city.toyohashi.lg.jp

商工業振興課 [6]
 (0532) 51-2437
 shokogyo@city.toyohashi.lg.jp

都市の3次元データを整備・オープンデータ化し、活用します ～豊橋のまちの3次元化～



まちづくり分野においてDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進するため、本市の3D都市モデルを整備しオープンデータ化するとともに、活用を進めます。

3D都市モデル*1の整備

従来のデータ

都市計画基本図

航空写真を基に作成した
地図データ

都市計画基礎調査

建物の高さや用途、建築年
などの都市情報

3次元化



3D都市モデルのイメージ
(PLATEAU VIEWより)

PLATEAU*2によるオープンデータ化



一般公開され
様々な場面で
利活用が促進される



3D都市モデルの活用

浸水シミュレーションの作成



浸水シミュレーションのイメージ
(PLATEAU VIEWより)

防災まちづくりワークショップの開催



ワークショップのイメージ

ポイント

1. 3D都市モデルの整備と浸水シミュレーションの作成 新規

市全域の3D都市モデルを整備し、オープンデータ化します。

また、災害の様子をわかりやすくするため、3D都市モデルを活用して災害リスクを3次元で可視化し、市民や地域の防災意識の向上につなげます。

2. 防災まちづくりワークショップの開催 新規

浸水シミュレーション等を用いて地域における災害リスクの周知や課題・取組みを検討する防災まちづくりワークショップを開催します。

*1 3D都市モデル

建物等を3次元化で表現した地図に都市情報を付与し、都市空間を再現したもの

*2 PLATEAU (プラトー)

国土交通省による日本全国の3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化プロジェクト

事業費

2,960万円

お問い合わせ

都市計画課 [1, 2]

(0532) 51-2622

toshikeikaku@city.toyohashi.lg.jp

防災危機管理課 [2]

(0532) 51-3116

bousaikikikanri@city.toyohashi.lg.jp



令和7年春から路線バスで 交通系ICカード（manacaなど）が使えるようになります

キャッシュレス決済に対応していない路線バスの利便性を向上させるため、令和7年春から交通系ICカードが利用できるよう豊橋市の路線バス事業者を支援します。



ポイント

1. 交通系ICカード導入支援事業 **新規**

【事業内容】

補助内容	交通系ICカード導入経費を助成	
対象事業者	路線バス事業者	
利用可能カード種類	一般利用：manacaなど全国相互利用交通系ICカード 定期利用：manacaのみ	
スケジュール	令和5年度	令和6年度
	機器取付、システム導入等 → 令和7年3月開始(予定)	



事業費

2,009万円

お問い合わせ

都市交通課
(0532)51-2620
toshikotsu@city.toyohashi.lg.jp



【事業効果】

◆ 日常的な利用の利便性向上

- ・キャッシュレス決済に対応します。
- ・切符の購入が不要で、タッチするだけで乗降が可能になります。
- ・乗降時間の短縮により、定時性が確保されます。



物価高騰の影響を受ける中小企業や畜産農家、 新型コロナウイルス感染症患者等を支援します

プレミアム付電子商品券の発行による物価高騰対策や、新たなビジネスに取り組む中小企業、飼料価格の高騰に困窮する畜産農家等に対する支援等を行います。また、令和4年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策を行います。

市内事業者の売上向上と経済活性化を促進します（令和4年度補正予算に計上し繰り越す事業）



豊橋のお店をみんなで応援！！



プレミアム付電子商品券（TOYOPay）拡充

事業費 2億8,800万円

消費を喚起し、物価高騰の影響を受ける市内事業者の売上向上を促進するため、プレミアム付電子商品券を発行します。発行総数とプレミアム率を引き上げ、総額9.75億円分発行することで、強力的に経済活性化を促進します。

発行総数 15万セット プレミアム率 30%

【連絡先】
商工業振興課 (0532) 51-2425 shokogyo@city.toyohashi.lg.jp

売上向上を目的とした中小企業者の新たなチャレンジを応援します

新ビジネスチャレンジ応援事業 拡充

事業費 480万円

業態転換、ECサイト開設・改善、クラウドファンディングに加え、インバウンド需要に対応し、一般消費者向けの新たな取組みに挑戦する中小企業者への支援を行います。また、クラウドファンディングの活用方法など、事業者の売上向上につながるセミナーを実施します。

【連絡先】
商工業振興課 (0532) 51-2425 shokogyo@city.toyohashi.lg.jp

飼料価格の高騰に困窮する畜産農家の経営を支援します

畜産飼料価格高騰対策特別支援補助金 新規

事業費 4,500万円

飼料価格の高騰により県内有数の飼養頭羽数を誇る畜産農家の経営が圧迫されています。農家の負担を軽減するため、配合飼料価格安定制度積立金の一部を助成します。

【連絡先】
農業支援課 (0532) 51-2459 nogyoshien@city.toyohashi.lg.jp

新型コロナウイルス感染症患者の支援とワクチン接種を推進します

受診・相談センター、療養生活サポートセンターの運営

新型コロナウイルス感染症に関する電話相談窓口を引き続き運営するほか、健康相談や配食サービスなど療養者への支援を行います。

新型コロナウイルス感染症ワクチン接種の推進

令和4年度に引き続き、希望する市民へのワクチン接種を推進します。

事業費 29億8,174万円

【連絡先】
感染症対策室
(0532) 39-9189
kansen@city.toyohashi.lg.jp

分野別計画に基づく主な取組み

高校生世代の子どもを育てる世帯のために 通院医療費を無償化します



令和6年1月診療分から、高校生世代の子どもの通院医療費（保険診療の自己負担額）を助成することにより、高校生世代以下の医療費を無償化（※）します。



区 分	現 行	令和6年1月～
高校生世代	<ul style="list-style-type: none"> ・通院 自己負担あり ・入院 無償（償還払い） 	新規 通院・入院ともに無償（窓口負担なし）
0歳～中学生	通院・入院ともに無償（窓口負担なし）	

ポイント

1. 高校生世代の通院費も無償 新規

高校生世代（中学校修了後から18歳到達年度末まで）の子どもの入院医療費に加え、助成対象を通院医療費まで拡大し、保険診療の自己負担額を全額助成します。これまでと同様に所得制限はありません。

2. 窓口での支払いなし

現行の高校生世代の入院医療費は償還払いのため、一旦窓口での負担や市役所での申請手続きが必要でしたが、令和6年1月以降は、受給者証を提示することにより無償で受診できます。

3. 申請手続きは電子申請を活用

申請手続きは、ご自宅等で簡単に手続きができる電子申請を活用します。

※健康診断、予防接種、差額ベッド料などは、自己負担です。

事業費

6,120万円

お問い合わせ

子育て支援課

(0532)51-2335

kosodate@city.toyohashi.lg.jp





ヤングケアラーの支援を強化

ヤングケアラーになる背景は、家族の障害や幼いきょうだいの世話など様々です。誰一人取り残すことがないように、その存在に目を向け必要な支援を行います。

学校や地域をはじめとした関係機関と連携しながら 子どもと家族に寄り添う支援に取り組みます

病院への付き添いがあるから部活に入れない

自分以外に介護できる人がいない
進学も就職も考えられない

誰にも話せない、寂しい、苦しい

夜遅くまで家事が終わらなくて、授業中が眠たい

取組みの4つの柱

- 1 知ってもらうこと
- 2 相談してもらうこと
- 3 見つけて支援すること
- 4 寄り添うこと

困難を抱える子どもの健やかな成長を後押し



※愛知県の「ヤングケアラー支援モデル事業」を受託します。

ポイント

事業費

1. **ヤングケアラーの周知啓発・理解促進に向けた取組み** 拡充
ヤングケアラーのことを正しく理解し、知ってもらえるよう、関係機関向けの研修会や学生向けのフォーラムを開催します。
2. **相談しやすい環境づくり** 新規
(1) 新たに配置する巡回相談員が市内の学校を訪問することで、学校とココエールを含めた関係機関との連携を強化し、子どもにとって相談しやすい環境を整えます。
(2) 市立高等学校を支援モデル校として、愛知県が募集したピアサポーター（元ヤングケアラー）を交え、子どもが気軽に立ち寄り、声かけできる居場所を提供することで、現状への「気づき」や「相談する」きっかけづくりを行います。
3. **子どもが担うケア負担の軽減に向けた支援** 新規
掃除や料理、洗濯など、ヤングケアラー向けの家事支援を実施し、友だちとの関わりや学習、ケアスキルの学びなど、時間を有意義に活用できる機会を提供します。
4. **自らの困難を乗り越える機会の創出** 新規
ヤングケアラー同士がつながり合えるサロン会の開催や、家事や介護、病気への理解など、自らの知識やスキルアップを図る講座を開催し、ヤングケアラー自身の力を高めます。

事業費

1,000万円

お問い合わせ

こども若者総合相談支援センター
(0532) 54-7830
kodomo-sougou-center@city.toyohashi.lg.jp





■ 法人保育所・認定こども園整備費補助金

法人保育所・認定こども園のリニューアルを支援します

就学前の子どもが健やかに育つ環境を整えることを目的に、法人保育所や認定こども園が行う施設整備に対する支援をします。



施設整備の事例
(園舎や内装等のようす)

ポイント

1. 法人保育所等整備（3園）新規

良好な教育・保育環境を確保するため、老朽化した園舎の大規模改修等に係る費用の一部を助成します。

園名	定員	整備内容
野依保育園	220人	改築
岩田こども園	390人	大規模改修、改築、創設
希望が丘こども園	340人	大規模改修、創設

2. 認定こども園移行に係る整備（1園）新規

幼稚園から認定こども園へ移行するために必要な乳児室や調理室等の施設整備に係る費用の一部を助成します。

豊橋中央幼稚園	241人	認定こども園新設 園舎改築
---------	------	------------------

事業費

19億8,827万円

お問い合わせ

保育課
(0532) 51-2316
hoiku@city.toyohashi.lg.jp



学校や教室へ行きづらさを感じる児童生徒のための 安心できる居場所「エールーム」を中学校内に新設します

学校や教室へ行きづらさを感じる児童生徒のために、子どもたちが自分らしさを認められ、あたたかな雰囲気の中で過ごせる「居場所」として、市内2か所の中学校内に「エールーム」を新設します。



ポイント

1. 青陵中学校と南部中学校に「エールーム」を新設 新規

対象：学校や教室へ行きづらさを感じる市内全小中学生

(1) 常駐スタッフの配備

教員免許をもつ専任スタッフが1名常駐し、子どもの興味関心に沿って意欲を引き出し、活動をサポートします。

(2) 安心して過ごすことができる環境整備

室内にゆったりくつろげるスペース、個で活動に打ち込むスペースや、仲間とかかわり合いながら活動できるスペースを設け、子どもの「やりたい!」「やってみよう!」を手助けできる環境をつくりまします。

さらに、校内の学習環境を活用することで、子どもたちの活動の幅が広がります。

事業費

761万円

お問い合わせ

学校教育課（教育会館）

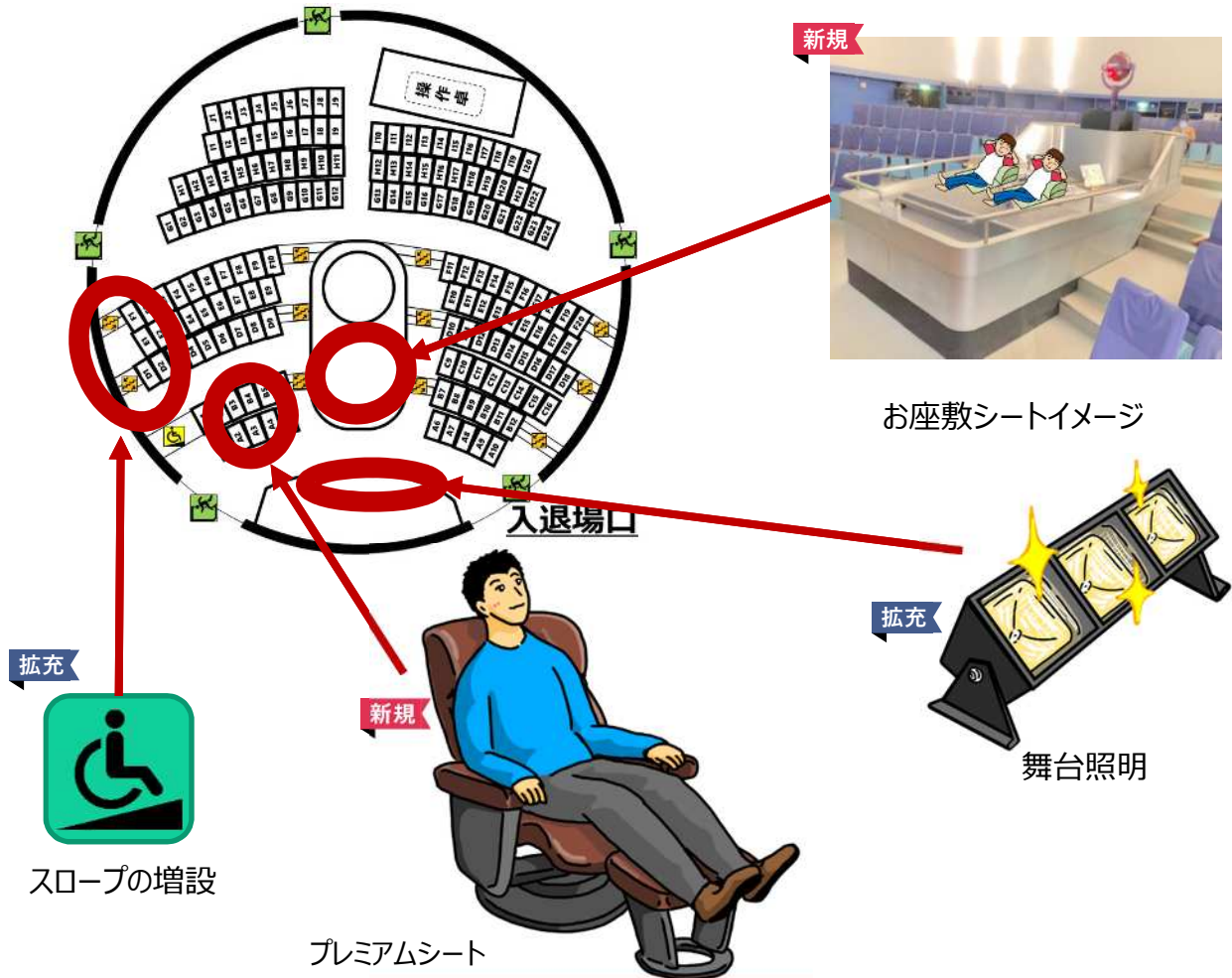
(0532) 33-2113

gakkoukyoiku@city.toyohashi.lg.jp



たぶん世界初！ 畳でプラネタリウム 極上の星空ゆったり見てみりん！

プラネタリウムドームの活用の幅を広げ、大人が魅力を感じる極上の体験を提供できる環境を整備することで、大人をメインターゲットにした事業をより効果的に開催します。また、バリアフリー化のためスロープを増設します。



ポイント

- 1. プレミアムシートの設置** 新規
よりゆったりと星空を眺めることができるプレミアムシート3席を新設します。
- 2. お座敷シートの設置** 新規
畳に寝転がりながら星空を楽しむお座敷シート1区画を、旧投映機器のスペースに設置します。
- 3. スロープの増設** 拡充
ベビーカーなどでどの席にも行けるよう、階段にスロープを増設します。
- 4. 舞台照明の増設** 拡充
様々なイベント開催時に効果的な演出ができるよう、舞台照明を増設します。

事業費

229万円

お問い合わせ

科学教育センター

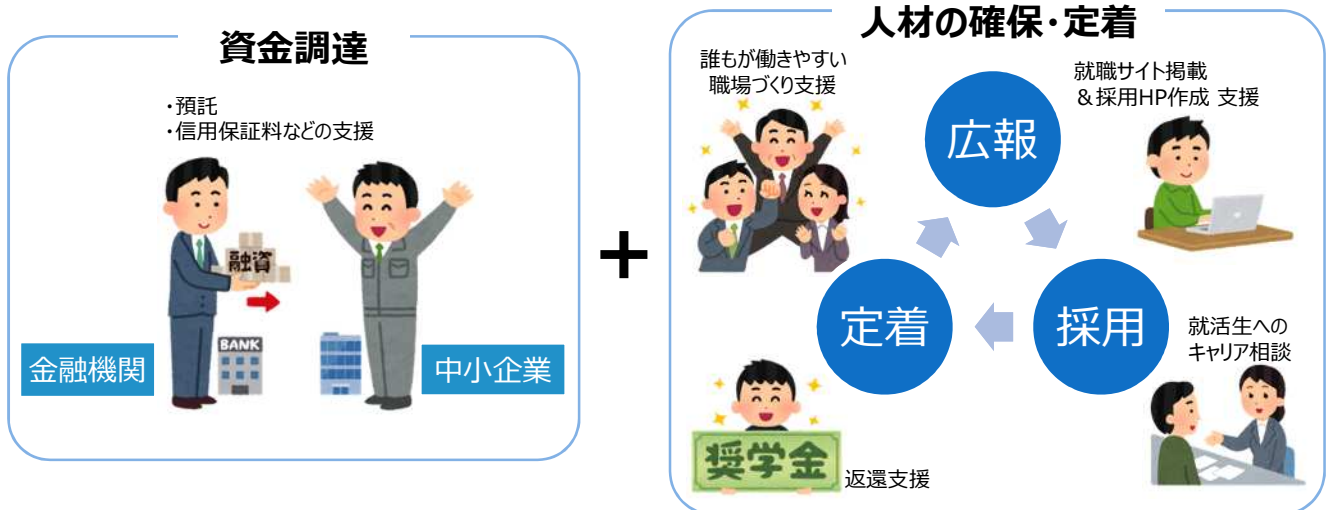
(0532) 41-3330

kagakukyoiku@city.toyohashi.lg.jp



市内企業の成長と事業継続を支えます

「廃業させないまち とよはし」の実現をめざし、市内企業の成長や事業継続に不可欠となる円滑な資金調達、人材の確保・定着に必要な支援を拡充し、経営基盤の強化を図ります。



ポイント

1. 融資制度の運用資金を預託します

中小企業が市の融資制度を利用して円滑に資金を調達できるよう、市の融資制度を取り扱う金融機関に対し、運用資金を預託します。

2. 信用保証料などの資金調達にかかる費用を支援します

市や県の融資制度を利用した中小企業に対し、信用保証料の相当額などを助成します。

3. 採用広報への支援を拡充します **拡充**

中小企業の就職サイト掲載費に加え、若手採用に効果的なHP作成に係る経費を助成します。

4. 奨学金返還支援補助金の対象者を拡大します **拡充**

大学等在学中だけでなく、高校在学中に奨学金の貸与を受けた方も返還支援の対象とします。

5. 働きやすい職場づくりへの支援を拡充します **拡充**

従業員用の男女別トイレの設置などの整備に加え、就業規則見直しなどを支援します。

6. 合同企業説明会における学生や就活生へのサポートの充実 **拡充**

キャリアコンサルタント等によるキャリア相談を実施することで、地元企業への就職を支援します。

事業費

16億6,005万円

お問い合わせ

商工業振興課

(0532) 51-2437

shokogyo@city.toyohashi.lg.jp



豊かな食と農を発展させていくため 豊橋産農産物の産地消を推進します

おいしい豊橋産農産物を活用した料理等を、もっと身近に食べることができる環境を整え、産地消を推進することで持続可能な「食と農のまち」をめざします。

豊橋産農産物活用推進補助金

6次産業化商品の開発や豊橋産農産物を活用した新商品開発等の経費を助成



※豊橋産農産物を活用した商品の一例



産地消に寄与するマルシェ開催や直売所設置等の経費を助成

飲食店等産地消活動推進事業

豊橋産農産物を使用したメニューを提供する店舗を巡るスタンプラリーイベントを実施



飲食店と農家をマッチングし豊橋産農産物を使用したメニューの商品化をめざす



豊橋産農産物を流通させる物流の仕組みの実証研究を実施

ポイント

1. 農産物の産地消推進に向けた体制を整備

(1) 豊橋産農産物を活用した新商品の開発等へ助成 新規

産地消を推進するため、豊橋産農産物を活用した新商品の開発や、産地消を取り入れたマルシェの開催等へ助成します。

(2) 豊橋産農産物を利用した店舗を巡るイベントを実施 新規

市内外の人に豊橋産農産物を使用したメニューを提供する飲食店や菓子店を訪れてもらうため、スタンプラリーイベントを実施します。

(3) 飲食店・菓子店と農家のマッチングによる産地消の推進

市内飲食店・菓子店と農家をマッチングし、豊橋産の食材を使用した新メニューを開発・提供するイベントを継続実施し、恒常的に豊橋産食材を使用する店舗を増やすことで産地消を推進します。

(4) 産地消を促進するための物流手法実証

産地消を推進するため、飲食店等へ農産物を少量から配送できる仕組みの構築に向けた実証研究に継続して取り組みます。

事業費

1,330万円

お問い合わせ

農業企画課

(0532) 51-2455

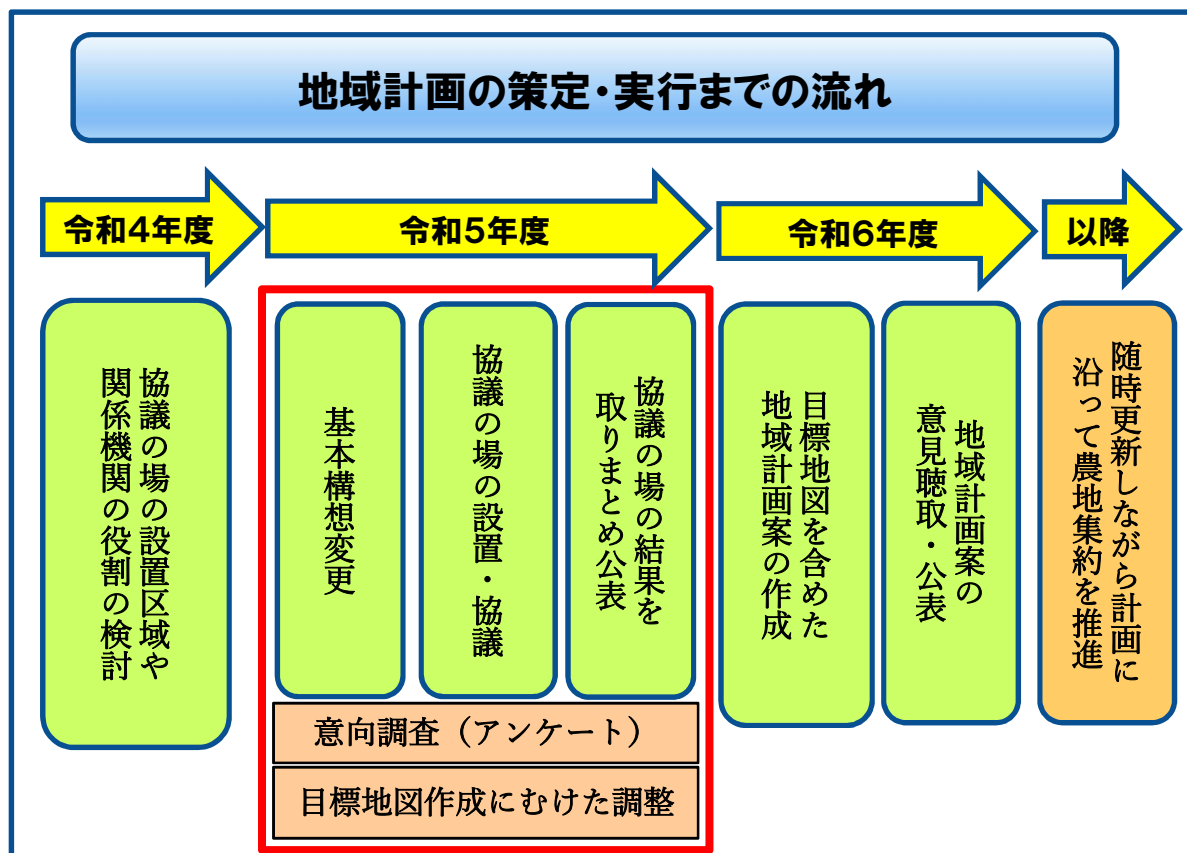
nogyokikaku@city.toyohashi.lg.jp



農地集約を推進するため、目標地図を含めた 地域計画策定の準備を進めます

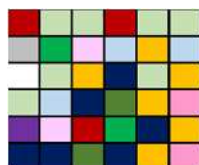
令和4年5月に農業経営基盤強化促進法が改正され、令和7年3月末までに「地域計画」を策定します。

地域計画とは農業者等による協議の結果を踏まえ、将来の地域の農業の在り方や農地利用の姿を明確化したもので、農地一筆ごとの耕作計画を示した「目標地図」も含まれます。



ポイント

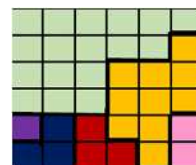
- 1. 地域計画策定のため協議の場を設置します** 新規
多様な農業関係者が集まる協議の場を設置し、協議が円滑に進むよう、コーディネーターを派遣します。
- 2. 目標地図の素案作成を進めます** 新規
農業者の意向を把握するためのアンケート調査を実施し、農地一筆ごとの利用意向等の結果を地図化します。



現況地図



アンケートをもとに
シミュレーション



目標地図（素案）

事業費

1,492万円

お問い合わせ

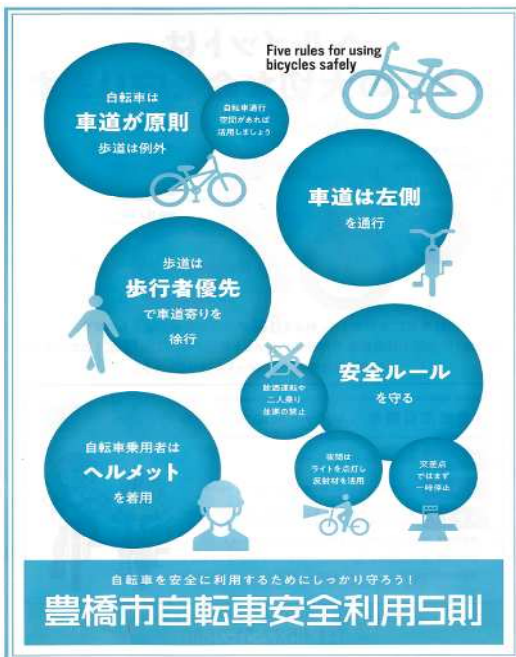
農業企画課 [1]
(0532) 51-2470
nogyokikaku@city.toyohashi.lg.jp

農業委員会 [2]
(0532) 51-2950
nogyoiinkai@city.toyohashi.lg.jp



悲惨な自転車交通事故を無くすため 自転車交通安全プロジェクトを実施します！

自転車交通事故の発生抑止のために、学校や警察などと連携を図りながら自転車安全利用の啓発や、自転車ヘルメット着用の促進を強化していきます。



ポイント

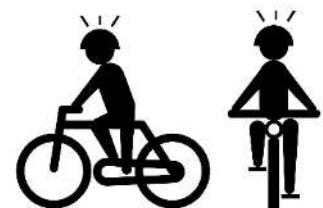
- 1. 自転車安全利用ステッカーの作成掲示 新規**
「自転車安全利用5則」をベースにステッカーデザインを募集し、選ばれたデザインでステッカーを作成します。出来上がったステッカーは、交通安全教室で配布し、市内中学・高校の駐輪場や駅前駐輪場等で掲示していきます。
- 2. 自転車ヘルメット一緒に被ろうキャンペーン 新規**
自転車死亡事故の発生頻度の高い高齢者と自転車利用の多い18歳以下を対象に、ヘルメット着用促進を強化するためのキャンペーンを実施し、抽選により賞品が贈呈されます。
- 3. 自転車ヘルメット購入補助**
自転車ヘルメットの購入費の一部を助成します。
(購入費の1/2 上限2,000円)

事業費

834万円

お問い合わせ

安全生活課
(0532) 51-2550
anzenseikatsu@city.toyohashi.lg.jp





若年層に向けた啓発活動を充実します

～新成人 だまされちゃ188 (嫌や!!)～

若者の消費者トラブルを防ぐため、若者自らが企画、作成した啓発動画のコンテンツを実施し、優秀作品をYouTube広告として配信することで、若者に向けた啓発活動を充実します。



脱毛エステの無料体験を受けたあと、高額契約した。

相談 解決 助言

188
消費者
ホットライン

188に
ご相談ください

消費生活センターは、国家資格を持った消費生活相談員が丁寧に対応します。

相談してよかったあ

困ったらどこに(だれに)相談したらいいの?

親にも相談できない。

お金がなくて支払いができない。

いざという時の
3桁電話番号
知ってますか?

ポイント

- アンケートの実施** 新規
市内の高校生に、消費や契約に係る認識や現在どのような問題を抱えているか調査します。
- 動画コンテスト開催** 新規
消費問題に関する15秒程度の動画などを、市内在学・在住の高校生や大学生等から募集し、優秀者に賞金を授与します。
- 優秀作品の動画配信** 新規
コンテストで優秀賞に選ばれた作品をYouTube広告で配信します。
- エシカルマルシェ開催** 新規
消費問題全般に興味をもってもらうため、人、社会、地域、環境に配慮した商品やサービスに特化したマルシェを開催します。

事業費

(わかば議会提案事業)
59万円

お問い合わせ

安全生活課
(0532) 51-2306
anzenseikatsu@city.toyohashi.lg.jp



消費ホットライン188
イメージキャラクター
イヤマン



豊橋市動物愛護センター（仮称）を整備します！

命あるものを大切に「人と動物が共生する住みよいまち豊橋」を実現するため、動物愛護の推進拠点となる豊橋市動物愛護センター（仮称）を整備します。

令和5年度は、建設に向けた土地の取得及び設計をします。



コンセプト

市民が親しみやすく、訪れやすい施設

動物について理解を深められる施設

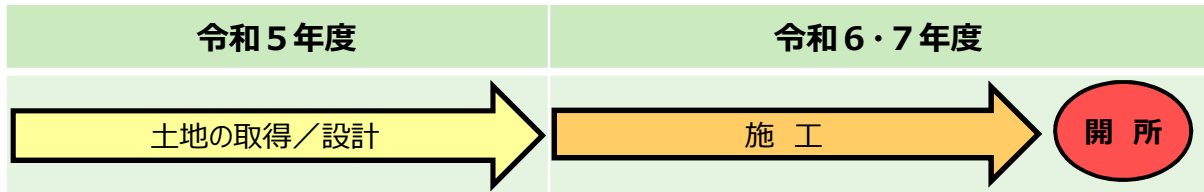
災害に強い施設

動物福祉に配慮した施設

周辺の生活環境に配慮した施設

地球環境に配慮した施設

施設の整備スケジュール



ポイント

1. 土地の取得 新規

ほいっぶに近接する農地で、敷地面積3,000～4,000 m²の土地を取得します。

事業費

1億27万円

2. 地質調査・実施設計 新規

計画地の地質調査を行い、「豊橋市動物愛護センター（仮称）整備基本計画」で定めたコンセプトに基づき、建設に向けた設計を行います。

お問い合わせ

生活衛生課
(0532) 39-9127
seikatsueisei@city.toyohashi.lg.jp



持続可能な消防団組織を構築します！！

地域防災の中核を担う消防団活動の充実強化を図るため、災害対応能力の向上や処遇の改善に取り組みます。



ポイント

1. 負担軽減を図りつつ、災害対応能力を向上 **拡充**

競技化した訓練や儀礼的な活動は見直し、消防団員の負担軽減を図ります。

訓練については、効率化を図りつつ実効性が高まるよう、消防署との合同訓練を開催するなど、内容の強化を図ります。

2. 消防団の装備の改善 **拡充**

災害が多発化・激甚化する中で、より安全・安心に消防団が活動できる装備へ改善を図ります。

3. 報酬の改善 **拡充** **新規**

消防団が担っている活動の特殊性を鑑み、活動の実態に応じた報酬へ改善を図ります。

事業費

4,664万円

お問い合わせ

消防本部総務課

(0532) 51-3111

shobo-somu@city.toyohashi.lg.jp

障害のある医療的ケアが必要な方が外に出て 余暇を楽しめるよう支援を充実します！



屋外での移動が困難な医療的ケアが必要な方を対象に、外出時の移動を支援することで自立や社会参加を促します。



こんな悩みに寄り添う支援

- 【本人】 親に内緒で誕生日プレゼントを買ってあげたいのに、親がいないと外出できない。
 【保護者】 子どもを外出させてあげたいけど、医療的ケアがあるから大変。

ポイント

1. 医療的ケアが必要な方を移動支援の対象にします 新規

《対象者の要件など》

- ・施設入所者や入院中でないこと
- ・人工呼吸器管理、経管栄養、吸引、中心静脈栄養等の医療的ケアが自身で行えないこと 等

《利用時間、利用料について》

- ・利用上限は月10時間（利用時間は必要性に応じて決定）
- ・利用料は原則1割負担、負担上限月額あり
- ・市民税非課税世帯は費用負担なし
（負担上限月額は市民税課税額等に応じて段階的に上昇）

2. 資格を有する支援員がサポートします 新規

- ・看護師、准看護師又は喀痰吸引研修修了者が医療的ケアを実施

※本事業は市が指定した法人が、市が支給決定した利用者と契約して支援を行います。

事業費

870万円

お問い合わせ

障害福祉課

(0532)-51-2214

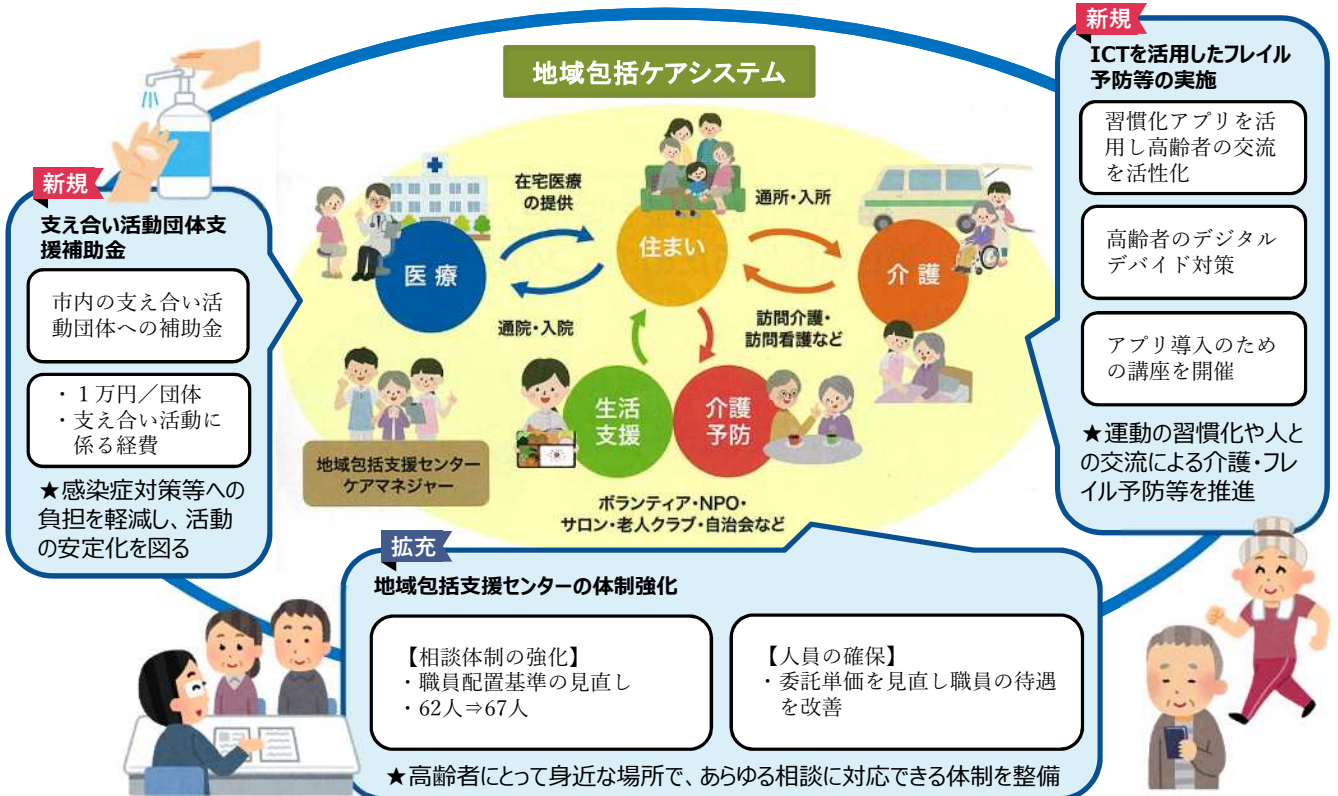
shogaifukushi@city.toyohashi.lg.jp

■ 地域包括ケアシステムの推進



超高齢社会、人生100年時代を力強く健やかに生きるため 地域包括ケアシステムの一層の推進を図ります

人生100年時代を迎える中、誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らせる地域づくりを推進し、高齢者の孤立や孤独対策、生きがい支援などにつなげます。



ポイント

1. 支え合い活動団体支援補助金 **新規**

市内の支え合い活動団体が、感染症対策の実施等で負担となっている費用を支援することで、活動の安定化を図ります。
 1団体1万円を上限とし、活動に係る経費に対して助成します。

2. ICTを活用したフレイル予防等の実施 **新規**

高齢者の介護・フレイル予防を目的に、習慣化アプリを活用した交流の活性化や、運動、社会参加の動機づけを図ります。
 また、アプリ導入支援講座をきっかけに、スマートフォンの活用支援や促進を図り、デジタルデバイド対策にもつなげます。

3. 地域包括支援センターの体制強化 **拡充**

高齢化に対応するため、高齢者の相談窓口である地域包括支援センター職員の増員を図り、相談体制を強化します。また、委託単価を見直すことでセンター職員の待遇改善を図り、人材の確保に努めます。

事業費

3億9,362万円

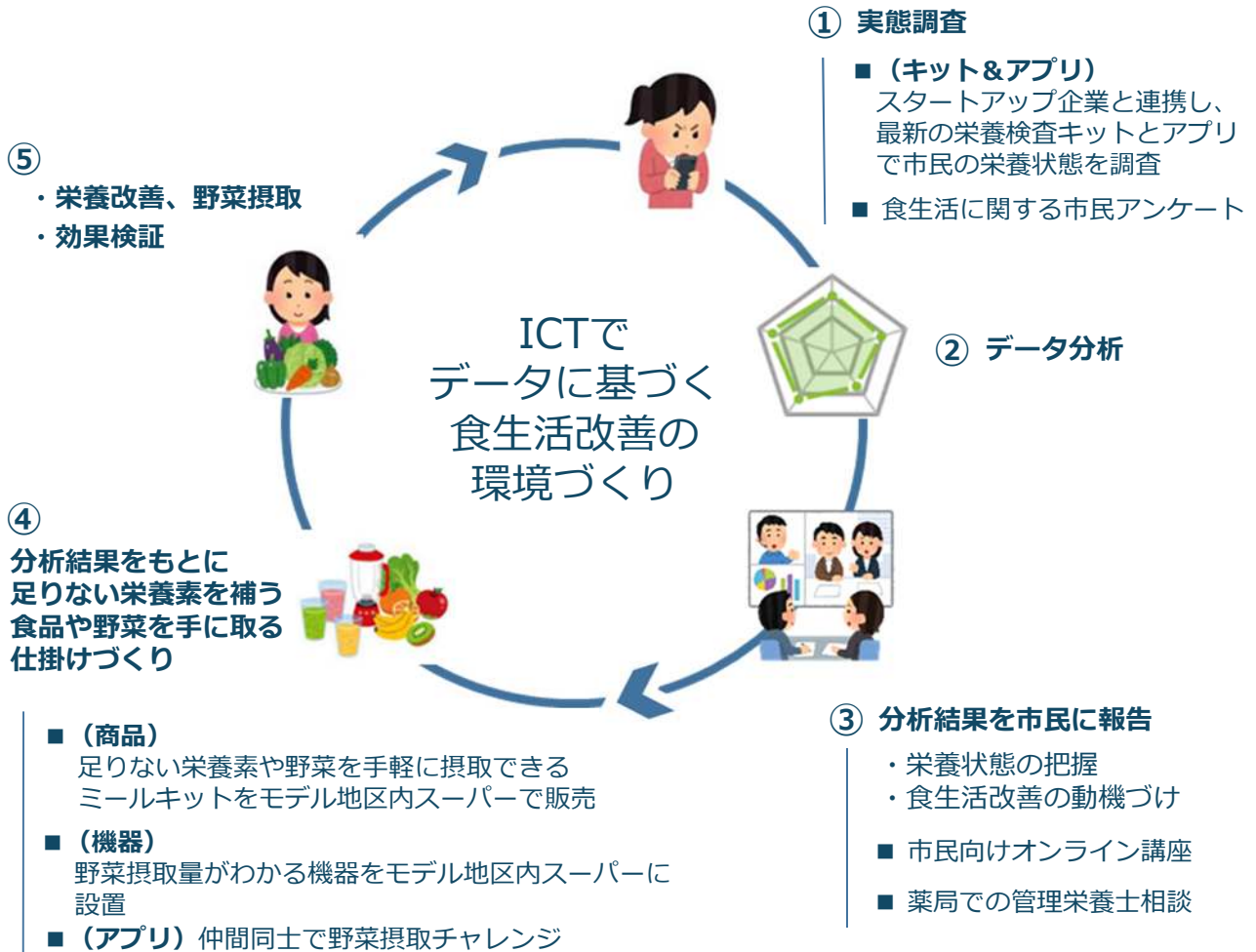
お問い合わせ

長寿介護課
 (0532) 51-2330
 choju@city.toyohashi.lg.jp



ICTを活用したヘルスケアサービスで 市民の食生活を改善する環境をつくります

ICTを活用した最新のヘルスケアサービスによる栄養調査や食生活改善の取組みを通じて、市民生活のあらゆる場面で、自然と健康に導く環境をつくります。



ポイント

1. 糖尿病予防のスマート化を推進 新規

本市は、糖尿病予備群の割合が高く、この段階では自覚症状はないことが多いため、生活習慣を改善せずにいると糖尿病の発症リスクが高まります。

ICTを活用し、自身の栄養状態や食生活に関するデータを容易に把握できる環境をつくり、併せて食生活改善を支援するサービスを提供します。

2. 健康づくりに地元野菜を活用 新規

健康的な食生活には、十分な量の野菜摂取が重要です。全国トップレベルの野菜生産地である本市の強みを活かし、地元野菜を手軽に食べられるサービスを提供します。

事業費

306万円

お問い合わせ

健康政策課

(0532) 39-9116

kenkouseisaku@city.toyohashi.lg.jp



带状疱疹ワクチン接種費用の一部助成を開始します

带状疱疹の罹患者数は増加傾向にあり、特に50歳以上で発症率が上がり、80歳までに約3人に1人が発症するといわれています。带状疱疹ワクチン接種費用の助成を導入することで、発症の予防及び予防接種を受ける市民の経済的負担軽減を図ります。



ポイント

1. 带状疱疹ワクチンの費用を一部助成します **新規**

50歳以上の方の带状疱疹ワクチン接種費用の一部助成を開始します。任意予防接種のため、現在、公費助成を行っているのは全国でも約50自治体です。

助成対象：豊橋市に住民登録があり、接種日時点で満50歳以上の方

実施期間：令和5年4月1日から

2. ワクチンの金額に応じた助成額

ワクチンの種類は2種類あり、それぞれの金額に応じて助成を行います。

① 生ワクチン (ビケン) 4,000円/回 (1回接種)

② 不活化ワクチン (シングリックス) 10,000円/回 (2回接種)

※接種費用は医療機関により異なります。

3. 事前申請や特別な手続きは不要

豊橋市民であることが確認できる書類 (マイナンバーカード等) を市内の実施医療機関に提示し、接種費用から助成額を除いた額を医療機関で支払うことで、接種が完了します。

事業費

5,277万円

お問い合わせ

健康政策課

(0532) 39-9109

kenkouseisaku@city.toyohashi.lg.jp



感染症専用病棟が完成します！ I C Uの機能強化と病床再編を行います！

今後の新たな感染症の発生に備えるため、令和3年度より整備を進めてきた感染症専用病棟が令和6年2月に完成します。

また、スーパーICUの設置と療養環境の改善のため、内部改修工事を行います。

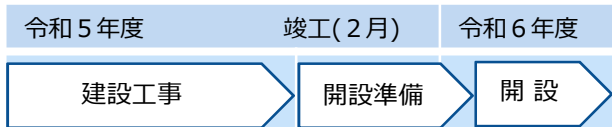
感染症専用病棟の整備



【病棟の概要】

- ・病床数 10床（すべて陰圧の個室*1）
- ・専用の検体採取室、胸部撮影室を設置
- ・鉄骨造平家建（延面積 908㎡）

■スケジュール



スーパーICUの設置と病床再編



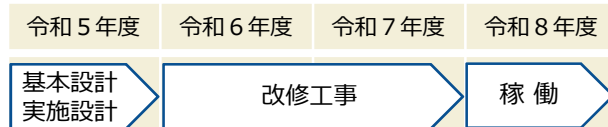
【スーパーICUの設置】

- ・1床あたりの床面積を15㎡から20㎡へ拡張
- ・専門性の高い医師・看護師の配置
- ・臨床工学技士の院内常時配置

【病床再編】

- ・各病棟の6人床を解消など

■スケジュール



*1陰圧の個室 … 室内の空気やウイルスが室外に流出しないように、室内の気圧を低くする設備がある個室のこと

ポイント

1. 感染症専用病棟の整備

病室のほか、スタッフステーションや通路などの空調を個別管理できるようになり、異なる感染症の患者さんが同時に入院することができます。

2. スーパーICUの設置と病床再編 新規

第三次救急医療機関として、より高度な集中治療を24時間365日提供するため、ICUの高機能化を図ります。

また、患者さんの療養環境改善のため、6人床を解消するなどホスピタリティの向上を図ります。

事業費

11億3,200万円

お問い合わせ

市民病院管理課
(0532) 33-6111
hosp-kanri@city.toyohashi.lg.jp



個性あふれる芸術文化を発信します

優れた舞台芸術作品の発信を通じて、市民がより質の高い芸術文化に触れることのできる機会を提供します。

プラットフォーム「新作公演」



桑原裕子 田中美里

障害のある方向けの鑑賞サポート付き上演

木ノ下歌舞伎

「糸井版 摂州合邦辻」



木ノ下裕一 糸井幸之介

「立川志の輔独演会」



立川志の輔

とよはしアートフェスティバル2023 「野村万作・野村萬斎狂言公演2023」



「大道芸 in とよはし」



野村万作 野村萬斎

ポイント

1. 穂の国とよはし芸術劇場プロデュース新作演劇公演

開館から11年目を迎えるにあたり、これまで10年間で培ってきた経験を生かし、さらなるブランド力向上を図るため、新たに演劇公演を創造し、豊橋から全国に発信します。

- プラットフォーム「新作公演」**新規**

桑原裕子 作・演出 田中美里 出演

2. 多様な人の鑑賞機会を広げる公演

障害等の有無にかかわらず、誰もが芸術文化を鑑賞することができる機会を提供します。

- 障害のある方向けの鑑賞サポート付き上演

木ノ下歌舞伎「糸井版 摂州合邦辻」

監修・補綴・上演台本／木ノ下裕一

上演台本・演出・音楽／糸井幸之介

3. その他注目の公演

幅広い年齢層の市民へ優れた作品の鑑賞機会を提供するため、様々なジャンルの公演事業等を行います。

- 立川志の輔独演会

毎年好評の立川志の輔さんの独演会を今年も開催します。

- とよはしアートフェスティバル2023「大道芸 in とよはし」

みんなが楽しめる大道芸でゴールデンウィークのまちのにぎわいを創出します。

- 野村万作・野村萬斎狂言公演2023

人間国宝の野村万作さんと野村萬斎さんが出演します。

事業費

1億8,040万円

お問い合わせ

「文化のまち」づくり課

(0532) 51-2873

bunka@city.toyohashi.lg.jp



リニューアルオープン記念展「ブルターニュの光と風」を開催！ そのほか、中庭の彫刻展示とコレクション展示を一新します

令和6年3月1日の美術博物館リニューアルオープンにあたり、来館者アンケートで人気の高い西洋美術展を開催します。フランス北西部、ブルターニュ地方にあるカンペール美術館の所蔵品を中心に、同地の豊かな自然や独自の文化を描いた19～20世紀の油彩画・版画・素描あわせて約70点を紹介します。



1. 会 期：令和6年3月1日（金）～4月7日（日）38日間（会期中無休）
2. 会 場：豊橋市美術博物館 1階展示室
3. 観覧料：一般・大学生 1,200円、小・中・高生 600円
4. 主 催：豊橋市美術博物館、中日新聞社（予定）
5. 後 援：在日フランス大使館

R6.3.1
リニューアル
オープン

左) アルフレッド・ギユ《さらば!》1892年
右下) アンリ・モレ《ポン=タヴァンの風景》1888-89年

右上) ポール・セリュジエ《さようなら、ゴーギャン》1906年
Collection du musée des beaux-arts de Quimper, France

ポイント

1. 画家たちを魅了したブルターニュの自然と文化 新規

ゴーギャンはじめポン=タヴァン派の画家たちが集ったブルターニュ地方。豊かな自然風土とそこに生きる人々の姿を描いた珠玉のコレクションを紹介します。中でもサロン出品作の大画面は圧巻！

2. 中庭の彫刻作品で、ホッとひと息 新規

愛知県出身で世界的彫刻家として知られる国島征二の作品を新たに中庭に設置。自然光が射し込む庭園に水を主題とする石彫作品を展示し、来館者がホッとひと息つける鑑賞スポットを創出します。

3. コレクション展示を一新（歴史・美術）

吉田城を中核とする歴史資料の展示や、郷土ゆかりの美術資料をわかりやすく紹介します。そのほかテーマ展示やトピック的なミニ企画も行い、様々な地域の魅力を発信していきます。

4. その他 記念イベント

「中庭彫刻みてさわって鑑賞会」、「リニューアルびはく探検ツアー」など、メモリアルなイベントを開催します。

事業費

4,237万円

お問い合わせ

美術博物館

(0532) 51-2882

bijutsu@city.toyohashi.lg.jp



東三河初開催！ アイアンマン70.3東三河ジャパン in 渥美半島の 開催を支援し、地域の活性化につなげます！

日本で3年ぶりに開催される「アイアンマン70.3」が、東三河で初めて開催されます。大会開催を契機にさらなるスポーツの振興を図るとともに、本市の魅力を世界に発信することで、地域ブランドの向上や今後のインバウンド誘客などにつなげ、地域の活性化を図ります。



【アイアンマン70.3とは】

国内のみならず世界各国から選手が参加する世界一過酷なレースと呼ばれるトライアスロン競技会の一つで、スイム・バイク・ランの合計が70.3マイル（113.1km）で行われます。

【開催の効果】

- ・大会参加者等の滞在による地域経済の活性化
- ・国内外の旅行者の誘客
- ・国内外のメディアによる本市の情報発信
- ・地域のスポーツ振興

【開催概要】

時期：令和5年6月8日（木）～11日（日）

※レースは令和5年6月10日（土）

場所：愛知県豊橋市、田原市

主催：アイアンマン70.3東三河ジャパン in 渥美半島実行委員会
（事務局：一般財団法人東三河スポーツ地域振興財団）

競技内容

アイアンマン70.3	スイム	1.9 km
	バイク	90.1 km
	ラン	21.1 km

ポイント

1. アイアンマン70.3東三河ジャパン in 渥美半島の開催支援 新規

安全な大会運営に協力し、国際的なスポーツ大会の開催を支援します。

2,300万円

2. 大会参加者等に向けたおもてなし事業の実施 新規

大会期間中、大会参加者等に向けたおもてなし事業を実施し、本市の魅力をPRすることで、再来訪を促します。

お問い合わせ

観光プロモーション課 [1,2]

(0532) 51-2430

kanko@city.toyohashi.lg.jp

3. 大会を通じたスポーツの振興

大会情報の発信などにより、市民の「する」「みる」「ささえる」スポーツ活動を促します。

「スポーツのまち」づくり課 [3]

(0532) 51-2866

sports@city.toyohashi.lg.jp



駅前大通りの歩道空間を活用した 憩いとにぎわいを創出するための実証実験を行います

まちなか図書館やまちなか広場などが隣接している駅前大通りを誰もが滞留しやすく、歩いて楽しい通りとすることをめざし、豊橋まちなか未来会議と連携して、歩道空間を活用した実証実験を実施します。



ポイント

1. 駅前大通りで実証実験を実施 新規

憩いとにぎわいのある魅力的な通りの実現に向け、豊橋まちなか未来会議のワークショップでの意見などを取り入れ、歩道空間を活用したテーブル・ベンチなどのオープンテラスの設置や、キッチンカーの出店などの実証実験を沿線店舗・企業等と協力しながら10日間程度行います。

令和4年度未来会議ワークショップでの駅前大通りに期待する意見

豊かなみどり

- ・みどりが豊かで、市電とあいまった良い風景がある
- ・緑の下で休憩したり、芝生で寝転んだり、ゆっくり過ごせる憩いの場

歩行環境

- ・歩道空間を活用したにぎわいがある
- ・ベンチやイス設置による滞留スペースがある
- ・駅前大通りの歩道空間を広くする

その他

- ・駅前大通りの広さを活用していろいろな取組みができる
- ・駅前大通りがシンボルロードにふさわしい景観を有する通りになる

2. 駅前大通りのめざす姿を描いた基本計画を作成 新規

実証実験の結果や市民の意見を踏まえ、駅前大通りを憩いとにぎわいのある、魅力的な通りとするための基本計画を作成します。

事業費

1,271万円

お問い合わせ

まちなか活性化課

(0532) 55-8101

machinaka@city.toyohashi.lg.jp



まちなかで再開発事業を推進します

豊橋駅周辺では、魅力あるまちなかの整備のため、豊橋駅前大通二丁目地区、豊橋花園商店街地区における再開発事業を支援し、それぞれ令和6年度の完成をめざします。



※パースは完成予想図であり、今後変更となる場合があります。

ポイント

1. 豊橋駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発事業（～令和6年度）

令和3年度にまちなか図書館等が入る東棟やまちなか広場が完成し、新たなにぎわいの拠点が形成されました。

引き続き、業務及び商業機能の再生や都心居住を促すとともに、にぎわいの創出等を図るため、西棟の完成に向け再開発事業を支援します。

【令和5年度事業内容】

西棟建築工事等

2. 豊橋花園商店街地区優良建築物等整備事業（～令和6年度）

老朽街区の解消や商業機能の再生、都心居住を促すため、花園商店街地区における再開発事業を支援します。

【令和5年度事業内容】

建築工事等

事業費

16億8,740万円

お問い合わせ

まちなか活性課

(0532) 55-8102

machinaka@city.toyohashi.lg.jp



動物や来園者の環境を充実して のんほいパークの魅力を高めます

動物の魅力の間近で感じ、命の大切さや生物多様性保全を知ってもらうために、園内環境を整備して魅力あふれる「のんほいパーク」をつくります。

サーバル舎の整備

休憩所の整備



動物の繁殖

展示効果の向上

飼育環境の向上



イメージ

園内の快適化

教育プログラムの推進



無料Wi-Fiの整備

情報発信の推進

利便性の向上

Wi-Fi

ポイント

事業費

1. サーバルの繁殖をめざします **新規**

獣舎の整備と新たな個体の導入により、サーバルの繁殖に取り組みます。屋外放飼場を備えることでサーバルがのびのびと過ごすことができ、いきいきとした姿の間近で観察することができます。

2. ゾウが見える丘に休憩所をつくります **新規**

休憩所では、ゾウの群れを眺めながら休憩したり、動物教室などの教育活動に参加することができます。

3. 無料Wi-Fiを整備します **拡充**

学校の校外学習や園の動物教育プログラム充実のため、園内に無料Wi-Fiを整備し、来園者に向けて発信する情報の充実を図ります。

4. 入園券購入時のキャッシュレス化を推進します **拡充**

インターネットで入園券を購入できるシステムを導入し、来園者の利便性向上と入園時の混雑緩和を図ります。

1億9,307万円

お問い合わせ

動植物園

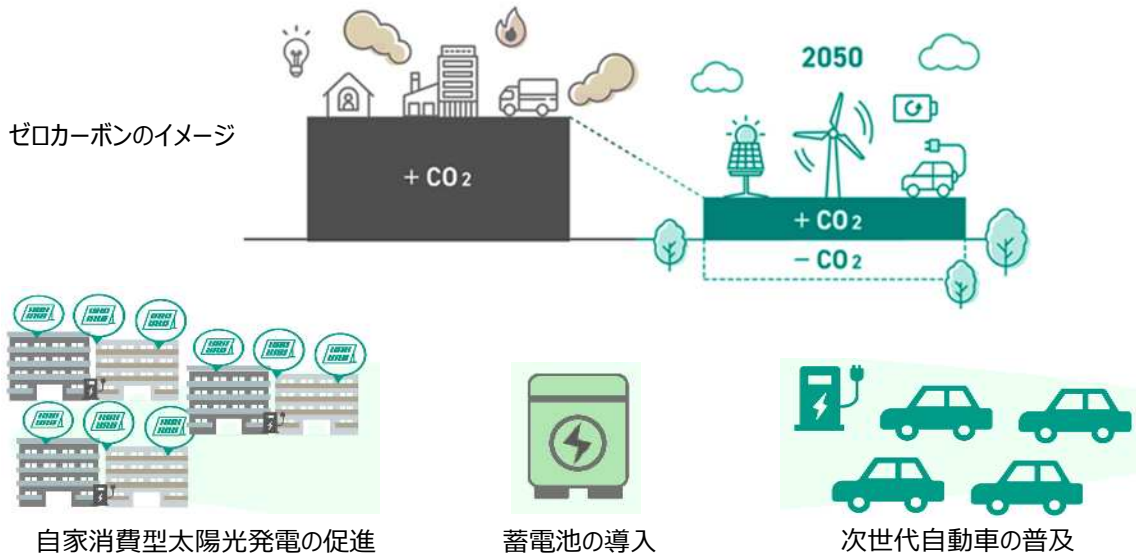
(0532) 41-2186

doshokubutsu@city.toyohashi.lg.jp

■ ゼロカーボンシティ推進事業

ゼロカーボンシティの実現に向け 脱炭素化への取組みを推進します

本市が掲げる「2050年ゼロカーボンシティとよはし」に向け、公共施設のゼロカーボンの推進をはじめ、省エネ・創エネ・蓄エネの導入による市民、事業者のライフスタイルの転換を促し、市域の脱炭素化に取り組みます。



ポイント

事業費

1. 脱炭素先行地域への採択をめざす調査の実施 **新規**
2030年までにCO₂排出ゼロを達成する脱炭素先行地域への採択をめざすため、対象地域及びその範囲や規模等について調査を実施します。

6,410万円

2. 公共施設へPPA事業（公募）による太陽光発電設備等の導入 **拡充**
再生可能エネルギー設備未設置の公共施設への導入を進め、エネルギーの地産地消及びレジリエンス向上を図ります。

お問い合わせ

ゼロカーボンシティ推進課
(0532) 51-2418
zeroco2@city.toyohashi.lg.jp

事業効果	太陽光発電設備導入予定量	約600kW
	削減されるCO ₂ 排出量	約250t-CO ₂ /年

3. 次世代自動車購入等に係る補助金の拡充 **拡充**
電気自動車等の導入を促進するため、助成件数を拡充します。

予定台数	電気自動車（普通）	100台→	75台 100台
	電気自動車（軽）		
	プラグインハイブリッド自動車	55台→100台	
	燃料電池自動車	9台→10台	
	住宅用充電設備	10基→20基	

4. パワーコンディショナー更新に係る補助金の拡充 **拡充**
既築住宅の太陽光発電設備のパワーコンディショナー更新費用の一部を助成します。

予定件数	太陽光発電設備パワーコンディショナー更新
	6件→35件



みんなで一緒に
ゼロカーボンに
取り組みまい!

かん田きょう子さん

■ ごみ減量推進事業



ごみ減量に向け吉本興業と連携し情報発信を加速します！

環境部の行う環境啓発イベントに吉本興業所属芸人を招き、その模様をBSよしもと等で放送することにより、市民への周知に加えて、全国各地へ「環境先進都市とよはし」を情報発信し、ごみ減量や環境配慮の取組みを推進します。

～ リアルイベント

×

吉本興業

～



環境啓発イベント



※令和4年度の制作・放送番組

リサイクル
促進

ゼロカーボン
シティ宣言

ごみ
減量

海洋プラス
チック削減

食品ロス
削減

ポイント

1. 吉本興業グループと連携した情報発信事業

令和4年度に「よしもとエリアアクション」と締結した包括連携協定に基づき、情報発信の加速を図り、ごみ減量や環境に配慮した取組みを推進します。

市内向け イベントでの周知、PR

環境啓発イベントに吉本興業所属芸人を招き、広く市民に対し、楽しく、分かりやすく、継続しやすい、環境に配慮した取組みについて周知、PRを行います。

全国向け メディアミックスによる情報発信

本市の環境に関する取組みについて番組を制作し、BSよしもとにて全国放送するとともに、制作した番組は本市公式 YouTube チャンネル「ええじゃないか豊橋」でも公開し、情報発信の相乗効果を図ります。

事業費

460万円

お問い合わせ

ゼロカーボンシティ推進課

(0532) 51-2399

zeroco2@city.toyohashi.lg.jp



吉本興業さんと
コラボして、楽しく
ごみ減量やろまい!

かん田きょう子さん

■ 自然環境保全推進事業（外来種駆除対策）



とよはしの豊かな自然を次世代へ！！

～ ニートリアやアライグマなどの駆除を進めます ～

生態系等に著しく悪影響を及ぼしている外来生物の生息数は年々増加傾向にあり、地球環境の変化などと相まって、日本古来の在来生物が絶滅の危機に瀕しています。ニートリアやアライグマなど「特定外来生物」の駆除を進めることで、市民生活や産業活動を守ります。

特定外来生物



アルゼンチンアリ



ニートリア



アライグマ



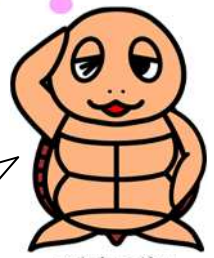
アカミミガメ



生態系の回復



みんなで
守ろう！！
とよはしの
美しい自然



アカウミガメ

ポイント

1. 法令に基づき、外来生物対策を適切に進めます **拡充**
優先順位をつけて、特定外来生物の駆除を実施します。

1	アルゼンチンアリ	在来生物の阻害、人家への侵入	継続
2	ニートリア	在来生物の阻害、農作物被害	新規
3	アライグマ	人家への侵入、農作物被害	新規
4	アカミミガメ	在来生物の阻害	拡充
5	ミズヒマワリ	在来生物及び水流の妨害、農作物被害	新規

2. 外来生物に対する正しい理解の促進に努めます **拡充**
市民団体や専門家と連携し、イベントや訪問授業などを実施します。

外来種被害予防三原則

- 「入れない」
- 「捨てない」
- 「拡げない」

事業費

402万円

お問い合わせ

環境保全課
(0532) 51-2385
kankyohozen@city.toyohashi.lg.jp





道路の異常箇所をLINEから通報できます！

道路の穴ぼこや側溝の破損などの異常を「LINE」から通報できるようになります。通報いただいた「異常項目」、「状況写真」、「位置情報」をもとに迅速に対応します。多くの市民の皆様にご利用していただくことで道路異常箇所の素早い把握と対応につなげていきます。



ポイント

1. LINEを使って業務をDX化 新規

電話や窓口にていただいている道路の異常箇所の通報がLINEからもできるようになります。通報用LINEアカウントの案内に沿って「異常項目」「状況写真」「位置情報」を送信していただくことで通報が完了します。

2. DX化の効果

- ・通報の受付から対応の完了までに要する時間が大幅に短縮
- ・口頭説明が不要となり通報が簡便化

3. 通報内容の進捗状況をホームページで公開

LINEから受け付けた通報の進捗状況を、豊橋市のホームページにて定期的に更新します。

事業費

523万円

お問い合わせ

道路維持課

(0532) 51-2635

doroiji@city.toyohashi.lg.jp



快適な暮らしを支える道路をつくれます

暮らしやすい環境の創出や、産業活動、観光誘客を推進するために、幹線道路の整備を進め、利用者の安全性や快適性、まちの防災性を向上させるとともに、道路ネットワークの強化を図ります。



ポイント

- 1. 豊橋新城スマートIC（仮称）の整備**
中日本高速道路株式会社と新城市とともに早期開通をめざし、整備に必要な用地の取得等を実施します。
- 2. 幹線市道の整備**
 - （1）一色町・王ヶ崎町1号線ほか 新規**
豊橋市西部方面から「ほいっぷ」へのアクセス道路として、新たな区間の詳細設計を実施します。
 - （2）明海町・老津町28号線**
明海地区産業基地から国道259号植田バイパスまでを整備することで、臨海工業地域の交通渋滞を緩和し、物流ネットワーク及び成長基盤の強化を図ります。令和5年度は橋梁下部工事を進めるほか、用地取得、道路改良工事を実施します。
- 3. 都市計画道路の整備**
都市計画道路のネットワークを構築するとともに、通学児童など通行者の安全確保を図るため、弥生町線の用地取得及び道路改良工事を実施します。

事業費

11億5,254万円

お問い合わせ

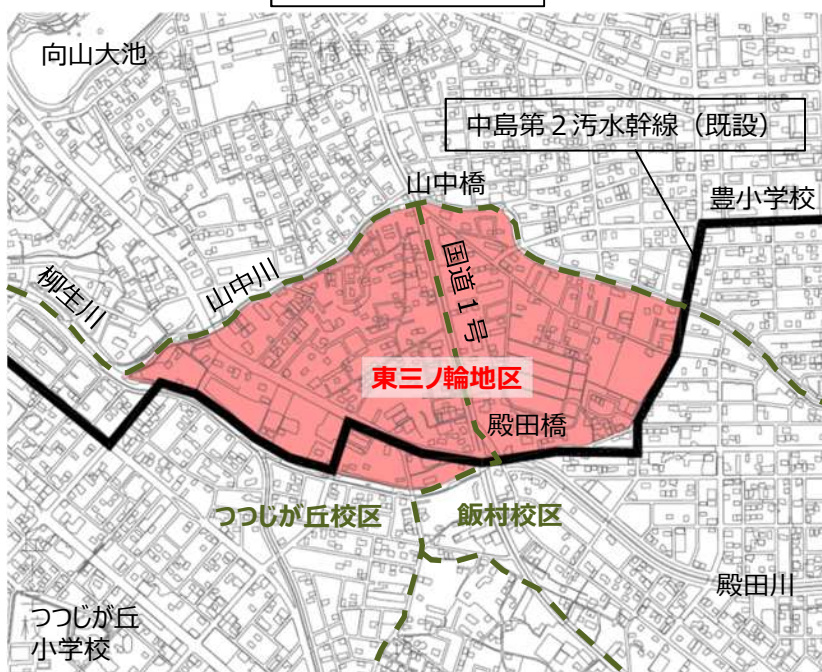
道路建設課
(0532)51-2520
dorokensetsu@city.toyohashi.lg.jp

住みやすいまちをつくるために 東三ノ輪地区において下水道整備を進めます

昭和10年に下水処理を開始してから10次にわたる拡張事業を実施し、生活環境の向上のため、下水道の普及に取り組んでまいりました。令和5年度より新たな地区として、東三ノ輪地区において下水道整備事業を進めます。



整備対象区域



管きょ工事のイメージ



工事完了後のイメージ



ポイント

1. 事業全体の内容

新たな下水道整備地区として、東三ノ輪地区の整備に取り組みます。東三ノ輪地区において污水管及び取付管を新設し、各家庭や事業所等で個別に処理している汚水を下水処理場に流して処理できるようにします。

対象地区	つつじが丘校区（三ノ輪町）の一部 飯村校区（飯村町）の一部
地区面積	約44ha
総事業費	約14億円

2. 下水道整備のスケジュール

令和5年度	令和6年度	令和7年度～令和12年度		
基本設計	法手続き	実施設計	工事	供用開始

令和5年度は地区内の調査・測量を含めた基本設計を行います。

事業費

1,700万円

お問い合わせ

上下水道局下水道整備課
(0532) 51-2770
gesuseibi@city.toyohashi.lg.jp

地震に強い水道管の整備や 古くなった下水道管の改良を推進します



災害時の水供給体制の強化や下水道の機能維持を図るため、重要給水施設へつながる水道管の耐震化を進めるとともに、老朽化した下水道管の更生工事を拡充します。

向山幹線水道管耐震化工事



水道管耐震化工事の様子



老朽化した下水道管



下水道管更生工事の様子



ポイント

1. 水道管・下水道管の現状

水道事業・下水道事業ともに、高度経済成長期等に布設した管の多くが更新時期を迎えつつあります。水道管・下水道管の老朽化は、断水・濁水や道路陥没の原因となります。そのため、耐震化や老朽化対策が喫緊の課題となっています。

2. 令和5年度事業の概要

(1) 水道管耐震化事業（水道）

主な施工箇所：中央幹線、松山幹線、新栄幹線
管径：φ50mm～800mm 管延長：5,119m
事業費 17億7,000万円

(2) スtockマネジメント事業（下水道） **拡充**

主な施工箇所：船町幹線、八町幹線、八町西幹線
管径：馬てい渠2,400mm×1,920mm他 管延長：5,809m
事業費 21億3,700万円

事業費

39億700万円

お問い合わせ

上下水道局水道管路課 [1,2(1)]

(0532) 51-2725

suidokanro@city.toyohashi.lg.jp

上下水道局下水道整備課 [1,2(2)]

(0532) 51-2775

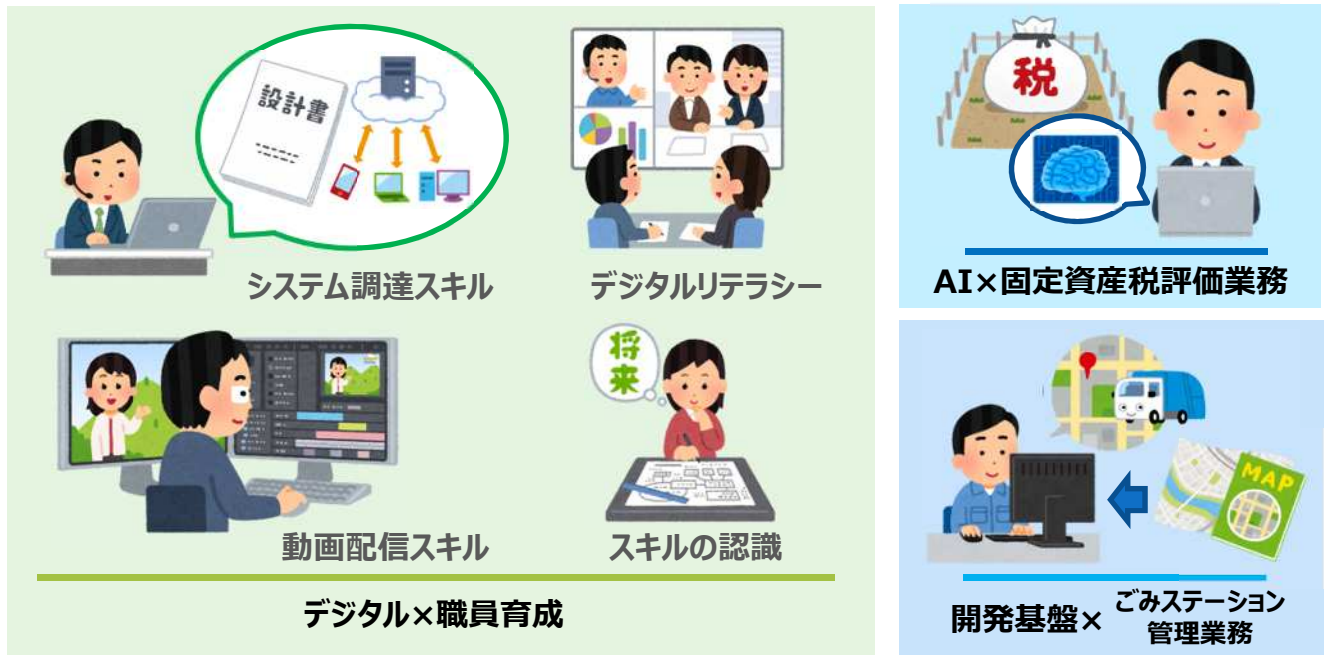
gesuiseibi@city.toyohashi.lg.jp

行政デジタル化の推進



職員デジタル人材を育成するとともに デジタルのチカラで業務改革を進めます

デジタル化を推進するため、原動力となる職員デジタル人材の育成に取り組むとともに、職員に求められるデジタルスキルを把握し共通認識とすることで成長を促します。また、AIなどのデジタル技術を活用し、市民生活に密着した業務の改革を進めます。



ポイント

事業費

- 職員デジタル人材の育成** 新規
デジタル化の原動力となる職員を育成するため、情報システム調達スキルや動画配信スキルを高めるための研修を実施するほか、デジタルリテラシーの底上げを図るための階層別DX研修を実施します。
また、職員が身につける必要のあるデジタルスキルを把握するとともに職員の意識を高め、一層のスキルアップを図ります。
- AIを活用した固定資産税の適正課税の推進** 新規
市内全域を撮影した航空写真をAIで判読することで得られる現況データと、既存の固定資産税の課税データとを比較し、不一致を解消していくことにより、適正課税を推進します。
- ノーコード・ローコードデジタル開発基盤※を活用したごみステーション管理業務の効率化** 新規
ごみステーションの地図情報や通報記録などをデジタル化し一元管理することで、業務の効率化を図ります。

1,961万円

お問い合わせ

行政デジタル推進室 [1,3]
(0532) 51-2081
g-digital@city.toyohashi.lg.jp

資産税課 [2]
(0532) 51-2215
shisanzei@city.toyohashi.lg.jp

収集業務課 [3]
(0532) 61-4136
shushugyomu@city.toyohashi.lg.jp

【用語説明】
※ノーコード・ローコードデジタル開発基盤：プログラミングなど専門知識を要しないシステム開発ツールのこと



まちづくりの輪を広げるために 「自分の住むまち」が好きになる絵本をつくります

まちづくりの推進には、実際にまちづくりに関わる人を増やすことに加え、「自分の住むまち」への愛着度の向上も欠かせません。豊橋の魅力を盛り込んだ「子どもから大人までみんなが豊橋のことを好きになる絵本」を制作します。



ポイント

1. 子どもから大人まで幅広く「豊橋の魅力」を伝えます **新規**
本市にゆかりのある絵本作家とともに、豊橋の魅力を盛り込んだ絵本を制作し、子どもたちだけでなく、「読み聞かせ」を通して子育て世代などの大人へも魅力を伝えます。
2. 様々な場面で「絵本」を活用します **新規**
子育て関連施設などへの配布や各図書館で開催する「おはなし会」での読み聞かせなど、誰にでも親しまれる絵本の利点を生かしながら様々な場面で活用していきます。また、本市に多く在住する外国人市民にも読んでいただけるよう多言語化を図ります。

事業費

161万円

お問い合わせ

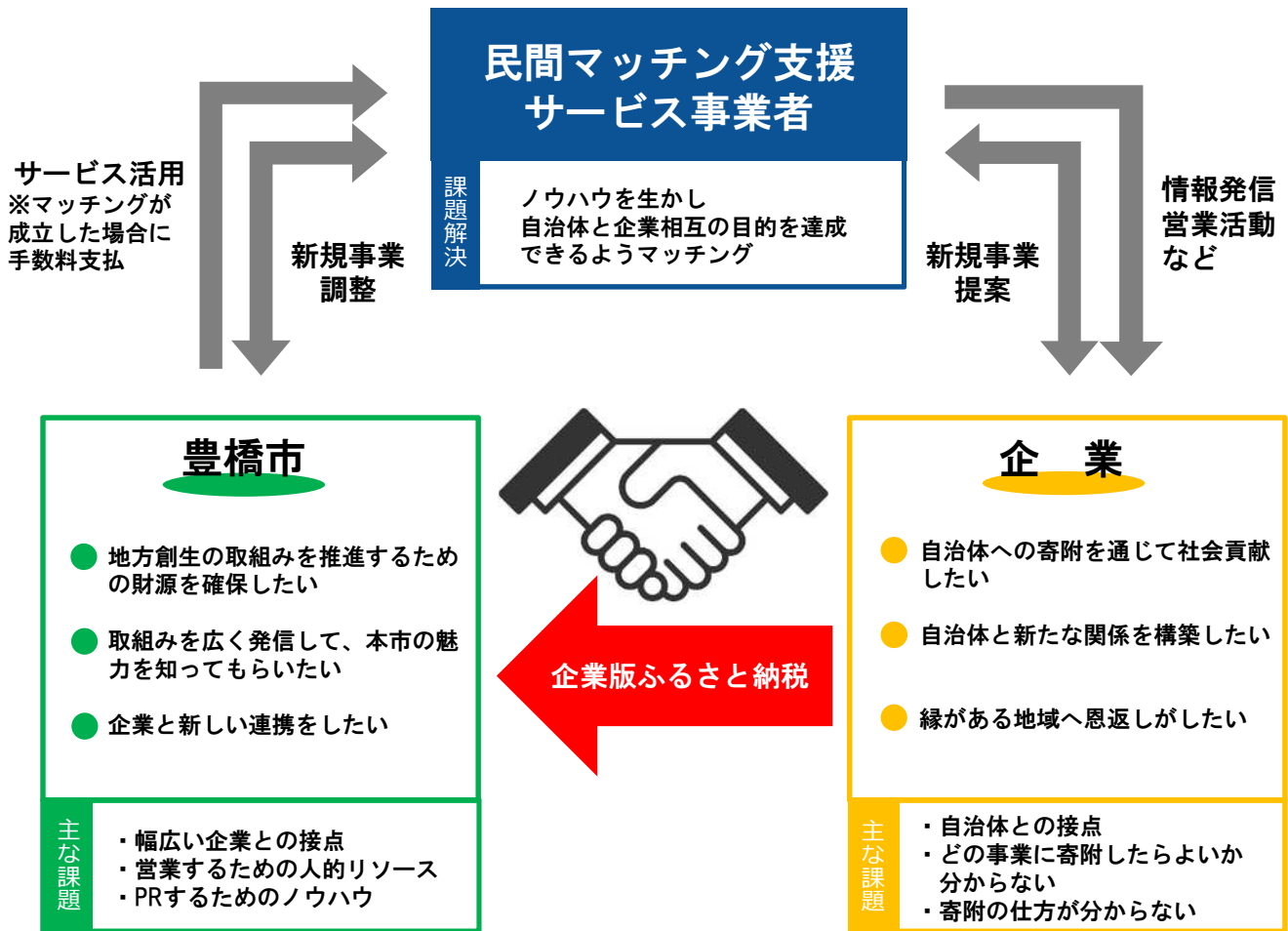
政策企画課
(0532) 51-3151
seisakukikaku@city.toyohashi.lg.jp





企業版ふるさと納税のさらなる獲得のため 民間事業者のマッチング支援サービスを活用します！

地方創生を進めるまちづくり戦略の推進に必要な財源を確保するため、民間事業者のマッチング支援サービスを活用し、全国からさらなる企業版ふるさと納税を募ります。



ポイント

1. マッチング支援サービスの活用 新規

民間事業者が実施している企業への情報発信や営業活動、事業調整などのマッチング支援サービスを活用し、豊橋市への企業版ふるさと納税を促します。

事業費

630万円

お問い合わせ

政策企画課

(0532) 51-3151

seisakukikaku@city.toyohashi.lg.jp



豊橋市